

朝霞市行政改革推進実施計画  
【令和5年度実績報告】

令和6年 月

朝霞市

## 行政改革の柱と主な取組

### (1)集中的に実施する取組(1～3ページ)

取組名	実施項目	シート 番号
1 デジタル化の推進	1 行政手続の電子化	1
	2 ICT の導入による事務の効率化	2
2 公共施設等の計画的な 管理・運営	1 公共施設等の計画的な管理・運営	3

### (2)定期的な見直し、継続的な実施が求められる取組(4～8ページ)

取組名	実施項目	シート 番号
1 予算編成事務の見直し	1 予算編成事務の見直し	4
2 財源の確保	1 多様な財源の創出・確保	5
	2 補助事業の見直し	
	3 使用料・手数料の適正化	
3 市民との協働の推進	1 市民との協働の推進	6
	2 地域に関与する市民や団体の育成	
4 業務委託等の活用	1 業務委託の活用	7
	2 指定管理者制度の検証	
5 機能的な組織づくり	1 組織機構の見直し	8
	2 審議会の見直し	

**朝霞市行政改革推進実施計画 【令和5年度】**

シート番号	1	分類	(1) 集中的に実施する取組
取組名	1 デジタル化の推進	実施項目	1 行政手続の電子化
推進課	デジタル推進課		
目的	来庁することなく申請・手続ができる手段を提供することにより、市民の利便性の向上を図るほか、接触機会を減らし、新型コロナウイルス感染症をはじめとする感染症の感染リスクを低減する。		
取組内容	<p><b>①電子申請の拡充</b> 各課における行政手続の電子申請(オンライン申請)の拡充を図る。また、国が「特に国民の利便性向上に資する手続」としている子育てや介護関係の26手続について、マイナポータルを利用した「ぴったりサービス」の活用を目指す。</p> <p><b>②キャッシュレス決済への対応</b> 窓口での使用料や手数料などの支払にキャッシュレス決済を導入する。</p> <p><b>③自治体情報システムの標準化・共通化</b> 対象となる20業務の自治体情報システムについて、国が求める令和7年度末までに、標準仕様に準拠したシステムへ移行する。</p>		
見込まれる効果	<ul style="list-style-type: none"> <li>・時間を問わず行政手続が行えることにより、市民の利便性が向上する。</li> <li>・現金の収受を省いた迅速な決済が行えることにより、手続に要する時間が削減され、市民の負担が軽減される。</li> <li>・接触機会を減らすことにより、感染症の感染リスクが低減される。</li> </ul>		

**1. 実施スケジュール**

取組内容	令和5年度				令和6年度				令和7年度			
	第1 四半期	第2 四半期	第3 四半期	第4 四半期	第1 四半期	第2 四半期	第3 四半期	第4 四半期	第1 四半期	第2 四半期	第3 四半期	第4 四半期
①電子申請の拡充	関係課と拡充検討・導入		検証		関係課と拡充検討・導入		検証		関係課と拡充検討・導入		検証	
②キャッシュレス決済への対応	関係課と拡充検討・導入		検証		関係課と拡充検討・導入		検証		関係課と拡充検討・導入		検証	
③自治体情報システムの標準化・共通化	現状分析・検討、移行計画作成				標準仕様に準拠したシステムへの移行							

**2. 関連する指標・数値等**

<p>①電子申請が可能となった手続数:53手続(常時公開分) (参考)令和5年度利用実績(53手続計):11,725件</p> <p>②キャッシュレス決済を導入した事業数:3事業 (参考)収納課「市税徴収事業」、「国民健康保険税徴収事業」、朝霞台出張所「窓口事業」</p> <p>③標準仕様に準拠したシステムへの移行完了業務数:なし 令和5年度移行完了業務はなし</p>	※①～③は令和6年3月31日時点の数値
---	---------------------

**3. 実績**

<p><b>①電子申請の拡充</b> 新たに15の電子申請手続(常時公開分)を可能とした。(罹災証明書交付申請(住家の被害)、罹災証明書交付申請(事業者用)、就学援助費希望調書・受給申請書(兼同意・委任承諾書)、朝霞市職員採用試験申込、介護関係11手続) ※介護関係11手続は、マイナポータルを利用した「ぴったりサービス」を活用している。</p> <p><b>②キャッシュレス決済への対応</b> 新たに1事業で導入した。(令和6年3月、朝霞台出張所において証明書等交付手数料の支払いに導入) (参考)導入実績:収納課においてクレジットカード(令和元年5月)、スマートフォン(令和2年9月)、地方税統一QRコード(eL-QR)(令和5年4月)による決済を導入した。</p> <p><b>③自治体情報システムの標準化・共通化</b> 令和7年度末までの移行のため、現状分析(標準準拠システムとの比較等)を踏まえた今後の対応等を検討した。 ※外部評価委員会において意見を聴取した上で、令和6年度行政改革推進実施計画の内容等を検討した。</p>
---

**4. 今後の方向性**

<p>市民の方々からいただいている御意見等を念頭に、自治体情報システムの標準化・共通化の進捗状況を踏まえ、子育て関係15手続のオンライン化や手数料等支払いのキャッシュレス化をはじめ、引き続き電子申請が可能な手続やキャッシュレス決済可能な事業の拡充に努めるなど、市民の利便性向上や負担軽減を図るとともに、情報セキュリティ対策や人と人とのつながりを意識した取組を検討する。</p> <p>※市民の方々からの御意見等(令和5年度) ・市政モニターアンケートでは、申請・手続等のデジタル化による簡略化を求める御意見などがあつた。 ・外部評価委員会では、オンライン化の充実のほか、情報セキュリティ対策の徹底や、住民との触れ合いに対する一層の意識化に関する御意見などがあつた。</p>
--

**朝霞市行政改革推進実施計画 【令和5年度】**

シート番号	2	分類	(1) 集中的に実施する取組
取組名	1 デジタル化の推進	実施項目	2 ICTの導入による事務の効率化
推進課	デジタル推進課		
目的	デジタルツールを導入、活用することにより、業務の効率化を図る。		
取組内容	<p>①定型的な業務にICT導入 AI※1やRPA※2、電子決裁、GIS(地理情報システム)などデジタルツールの導入やテレワーク環境の整備を検討する。また、音声自動テキスト化システムを活用することにより、職員の事務効率化を図る。</p> <p>②WEB会議システムを活用した会議等(市主催)の開催 市民向け講座、会議等にWEB会議システムを活用する。</p> <p>※1 AI:Artificial Intelligenceの略称で、人工知能のこと。人間の思考プロセスと同じような形で動作するプログラム、あるいは人間が知的と感じる情報処理技術。 ※2 RPA:Robotics Process Automationの略称。ロボットによる業務自動化。これまで人間が行ってきた定型的なパソコン操作をソフトウェアのロボットにより自動化することを指す。</p>		
見込まれる効果	<p>・業務効率化により生まれた人的資源を相談・企画等の非定型的な業務にあてることなどで、市民サービスの向上を図ることができる。</p> <p>・WEB会議システムを活用し、市民が参加しやすい環境を整えることにより、市民向け講座の開催形態の多様化や会議等を中止や延期することなく開催することができる。</p>		

**1. 実施スケジュール**

取組内容	令和5年度				令和6年度				令和7年度			
	第1 四半期	第2 四半期	第3 四半期	第4 四半期	第1 四半期	第2 四半期	第3 四半期	第4 四半期	第1 四半期	第2 四半期	第3 四半期	第4 四半期
①定型的な業務にICT導入	事例研究・関係課と調整・実証実験・導入			検証	事例研究・関係課と調整・実証実験・導入			検証	事例研究・関係課と調整・実証実験・導入			検証
②WEB会議システムを活用した会議等(市主催)の開催	実施			検証	実施			検証	実施			検証

**2. 関連する指標・数値等**

- ①削減した事務処理時間数  
会議録作成に要する時間:導入前の半分程度(令和3年度音声自動テキスト化システムの活用による試算)  
AI-OCR、RPAによる削減時間:  
・課税課の軽自動車税の申告に係る事務で36時間削減(令和5年12月～令和6年3月)  
・長寿はつらつ課の要介護認定・要支援認定申請に係る事務で36時間削減(令和5年10月～令和6年3月)
- ②WEB会議システムを活用した会議等の数及び市民向け講座の開催回数  
市主催件数:71件(うち、市民向け講座等:6件)

**3. 実績**

- ①定型的な業務にICT導入  
・音声自動テキスト化システムについて、会議等において111回の利用があった。  
・AI-OCR、RPAについて、2部署で導入した。(課税課、長寿はつらつ課)  
・GISについて、庁内利用の統合型システム、市民・事業者向けの公開型システムの運用を開始した。(令和6年3月)
- ②WEB会議システムを活用した会議等(市主催)の開催  
・WEB会議システムを活用し、市主催の会議等を71件開催した。  
※外部評価委員会において意見を聴取した上で、令和6年度行政改革推進実施計画の内容等を検討した。

**4. 今後の方向性**

音声自動テキスト化システムの活用件数やWEB会議システムを活用した市民向け講座等の開催回数の実績は増加傾向となっており、事務の効率化や市民の利便性向上に寄与していることから、今後も継続して取り組む。また、一層の事務効率化、市民サービス向上のため、令和5年度に導入したGISの利活用を積極的に進めるほか、令和6年度にAI-OCR、RPAの利用拡充や電子決裁・文書管理システムの構築を予定しており、今後も既存施策の効果・課題を検証しながら新たなICTの導入を図っていききたい。その際、市民の方々からいただいている御意見等への対応を図るため、ICTの導入による行政サービスの充実化とともに、利用促進に向けた環境整備などを検討する。

※市民の方々からの御意見等(令和5年度)

- ・市政モニターアンケートでは、公共施設におけるIT化の推進やフリーWi-Fiの充実化を求める御意見などがあった。
- ・外部評価委員会では、手続方法を動画視聴できるような環境整備等、高齢者等のデジタルデバインド対策の継続を求める御意見などがあった。

**朝霞市行政改革推進実施計画 【令和5年度】**

シート番号	3	分類	(1) 集中的に実施する取組
取組名	2 公共施設等の計画的な管理・運営	実施項目	1 公共施設等の計画的な管理・運営
推進課	政策企画課、財産管理課		
目的	市民が公共施設を将来にわたって安心して利用できるよう、計画的な維持管理を図る。		
取組内容	<p>①<b>公共施設の維持管理費縮減</b> 「朝霞市公共施設等マネジメント実施計画」に基づき、維持管理費縮減について検討を行う。</p> <p>②<b>公共施設(未利用地含む)の有効活用</b> 公共施設(未利用地含む)を有効活用できるよう検討を進める。</p> <p>③<b>「朝霞市公共施設マネジメント基金」の活用</b> 朝霞市公共施設マネジメント基金を設置し、公共施設の保全及び更新に必要な経費の財源を積み立て、今後の修繕費用に充てる。</p>		
見込まれる効果	<p>・「朝霞市公共施設等マネジメント実施計画」に基づいた適切な維持管理の手法を実施することで、経費削減を図る。</p> <p>・公共施設(未利用地含む)を有効活用することで不動産貸付料の増収につながる。</p> <p>・「朝霞市公共施設マネジメント基金」を適切に運用することで、今後見込まれる多額の必要経費に備える。</p>		

**1. 実施スケジュール**

取組内容	令和5年度				令和6年度				令和7年度			
	第1 四半期	第2 四半期	第3 四半期	第4 四半期	第1 四半期	第2 四半期	第3 四半期	第4 四半期	第1 四半期	第2 四半期	第3 四半期	第4 四半期
①公共施設の維持管理費縮減	→ 実施		→ 検証		→ 実施		→ 検証		→ 実施		→ 検証	
②公共施設(未利用地含む)の有効活用	→ 実施		→ 検証		→ 実施		→ 検証		→ 実施		→ 検証	
③「朝霞市公共施設マネジメント基金」の活用	→ 積立・運用		→ 検証		→ 積立・運用		→ 検証		→ 積立・運用		→ 検証	

**2. 関連する指標・数値等**

①**公共施設の維持管理費の縮減額**  
 ・庁舎管理における電気料金 11,299,428円の縮減

②**貸付等による収入額**  
 ・来庁者用駐車場の有料化に伴う貸付 52万8千円/年  
 ・憩いの湯跡地の貸付 113万8,830円/年

③**「朝霞市公共施設マネジメント基金」を充当した事業数**  
 充当件数 9件(令和5年度)

**3. 実績**

①**公共施設の維持管理費の縮減額**  
 ・庁舎照明のLED化及び電気契約を見直したことで、電気料金が前年度比で約27%減につながった。

②**貸付等による収入額**  
 ・令和4年度に引き続き、来庁者用駐車場有料化に伴う貸付を行った。(貸付期間:令和4年2月から令和9年2月までの5年間)  
 ・民間事業者に対して、憩いの湯跡地の貸付を行った。3事業者

③**「朝霞市公共施設マネジメント基金」を充当した事業数**  
 令和3年度から積立を開始し、令和4年度末時点の基金残高は9億9,131万5,098円であった。  
 令和5年度は新たに7億13万8,393円を積み増し、積み立てた基金のうち、1億4,285万5,000円を下記9事業で活用し、令和5年度末時点での基金残高は15億4,857万8,491円となった。  
 事業内訳:市庁舎長寿命化改修(調査・設計)、仲町市民センター大規模改修(設計)、内間木支所長寿命化対策(耐震調査)、朝光苑長寿命化改修(調査)、第二中学校校舎外壁等改修、中央公民館エレベーター更新、中央公民館長寿命化改修(設計)、博物館外壁等改修(設計)、武道館改修

**4. 今後の方向性**

引き続き、朝霞市公共施設等マネジメント実施計画を踏まえつつ、維持管理費の縮減、公有財産の有効活用による自主財源の確保を進める。  
 施設の状況に合わせて改修工事等を計画的に実施できるよう、毎年基金を積み立て、財源の確保に努める。  
 公共施設等マネジメント実施計画(第1期)が令和7年度で終了するため、第2期策定に向けて、第1期計画の進捗状況や課題、各施設の実状等を踏まえて、必要に応じて内容の見直しを行い、適切な維持管理につながる計画となるよう検討を進める。

朝霞市行政改革推進実施計画 【令和5年度】

シート番号	4	分類	(2) 定期的な見直し、継続的な実施が求められる取組
取組名	1 予算編成事務の見直し		
推進課	政策企画課、財政課		
目的	予算編成事務の見直しを行うことにより、市民が必要とするサービスが適切に提供できるよう、限られた財源の効果的な活用を図る。		
実施項目	<p><b>予算編成事務の見直し</b>            事業の優先度を考慮した既存事業の見直しや新規事業の実施など、事業課が主体的に事業の方向性を判断し、効果的な行政運営が行えるよう、枠配分予算方式を実施をする。</p>		
実績及び今後の方向性 (年度末に記入)	<p><b>実績</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・枠配分予算方式を実施したすべての部署で配分額の範囲内での予算編成を行うことができた。「令和6年度に各部に配分した一般財源額」と「令和6年度予算一般財源確定額」の差額△882万2,000円</li> <li>・各部署から提案のあった新規及び拡充の取組については、令和5年度当初予算編成時は227件であったが、令和6年度当初予算編成時には290件と増加した。</li> </ul>	<p><b>今後の方向性</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・今後も公共施設や小・中学校の改修などが予定されているため、引き続き既存事業の見直しや工夫を行い、最少の経費で最大の効果を挙げられるよう、枠配分方式による予算編成を実施していく。</li> <li>・各部から提案される新規及び拡充の取組の数は年々増加しているが、限られた財源の中で新たな行政課題や市民ニーズ等に的確に対応していくため、事業を見直し財源を確保し、新たな事業に取り組んでいくよう促していく。</li> </ul>	

**朝霞市行政改革推進実施計画 【令和5年度】**

シート番号	5	分類	(2) 定期的な見直し、継続的な実施が求められる取組
取組名	2 財源の確保		
推進課	政策企画課、財政課		
目的	将来にわたり安定した財政運営を行うため、使用料等の適正化や多様な財源の創出などにより、財源確保を図る。		
実施項目	<p>①多様な財源の創出・確保 国や県の補助金を有効的に活用出来るよう、新規事業や部署を横断する事業等を実施する際には関係部署と連携を図る。あわせて、ふるさと納税の活性化、有料広告収入の拡大など新たな自主財源の創出・確保(ガバメントクラウドファンディング、ネーミングライツなど)を目指す。</p> <p>②補助事業の見直し 他市の状況や市民ニーズを踏まえ、市単独の支援制度の必要性や適正水準を検討し、公平性の確保を図る。</p> <p>③使用料・手数料の適正化 住民負担の公平性の確保と受益者負担の原則に基づき、使用料及び手数料の適正化を図る。</p>		
実績及び今後の方向性 (年度末に記入)	<p><b>実績</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ふるさと納税の受入を増やすため、令和5年4月から新たなポータルサイト(楽天ふるさと納税)を追加するとともに、令和5年8月から利便性向上のため、オンラインワンストップ申請に対応できる体制を整備した。</li> <li>・ガバメントクラウドファンディングでは、令和5年度は試行実施として、「40周年を迎える朝霞市民まつり「彩夏祭」! 4年ぶりの打ち上げ花火を盛大に!」と題して、寄附の募集を行い、72名から989,000円の寄附をいただいた。 (目標金額200万円。達成率49.4%。)</li> </ul>	<p><b>今後の方向性</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・政策企画課と連携を図り、各部署が新規事業を実施する際には、国や県の補助金を有効活用できるよう調整する。また、新たな財源確保に向けて他市の事例等を調査・研究する。</li> <li>・ガバメントクラウドファンディングについては、令和6年度に再度試行実施として寄附の募集を行い、2つの試行事業の検証と今後の活用について検討を行う。 令和6年度に募集を行う「生理用品配布事業」(仮:5月末頃確定)は、経済的な理由等により生理用品を用意することが困難な状態にある方への支援として実施するもので、寄附を募集することで、市の取組を広く周知することができ、支援を必要とする方へ情報が届きやすくなることも期待している。</li> </ul>	

朝霞市行政改革推進実施計画 【令和5年度】

シート番号	6	分類	(2) 定期的な見直し、継続的な実施が求められる取組
取組名	3 市民との協働の推進		
推進課	政策企画課、市政情報課、地域づくり支援課		
目的	様々な世代の市民が、市政やまちづくりに関わられるような仕組みを構築することにより、市と市民との協働によるまちづくりを推進する。		
実施項目	<p>①市民との協働の推進 市民参画を推進するための制度(公募委員、市政モニター制度など)が、より有効に機能するよう、改善と拡充に取り組む。また、市民活動団体などと協働・連携した行政運営を図る。</p> <p>②地域に関与する市民や団体の育成 講座や講演会等の開催を通じて、地域での活動に関心を持つ人材を発掘するとともに、NPO法人等の市民活動団体の活動を支援する。</p>		
実績及び今後の方向性 (年度末に記入)	<p>実績</p> <p>① ・公募委員候補者名簿では、無作為抽出した2000名に登録依頼を行い、名簿に100人掲載した。 また、市民参画及び協働に対する職員の意識啓発を図るため、外部の講師を招いて、市の若手職員を対象とした、講演会を開催し、87人が参加した。 ・パブリック・コメントでは9件の実施があり、市政モニターでは3回のアンケートを実施した。なお、市政モニターについて、定例の募集に加え、任期満了者に継続の依頼を行った。</p> <p>② ・NPOやボランティア等との協働事業を実施した(令和5年度:64事業)。(見込:令和6年6月に数値確定) ・市民活動団体支援補助金の交付事業の活動発表として、団体と協働して事業報告会を行った(パネル展形式)。 ・市民活動パネル展の期間中、広く市民に対し活動への関心を持っていただくことを目的に「出張市民活動相談会」を実施した(計4日間)。 ・地域や分野の垣根を越えて、団体同士の連携を図ることを目的に、志木市、新座市、和光市との団体交流会を実施した。 ・(公財)いきいき埼玉と共催し、「地域デビュー支援セミナー」を開催。「人生100年時代を楽しむ」をテーマに、居場所づくり、活動の担い手づくりについて啓発を図った。</p>	<p>今後の方向性</p> <p>① ・今後も市政への市民参画を推進するため、審議会等の所管課に対し、市民委員枠の確保や拡大について働きかけを行い、公募委員候補者名簿からの登用にも繋げていく。 ・市政への市民参画を推進するため、広聴制度の運用の見直しを行うとともに、所管部署からの相談に応じ助言等を行う。</p> <p>② ・協働事業数については、前年度と比較しほぼ横ばいである。今後も拡大していくよう取り組んで行く。 ・市内で活動する団体の活動内容や成果が、市民に分かり易く伝わるよう団体の意見を聞きながら発表の場を充実させていく。 ・NPOや団体と協力しながら、セミナーなどを開催を通じて、新たな活動の「担い手づくり」を推進していく。</p>	

朝霞市行政改革推進実施計画 【令和5年度】

シート番号	7	分類	(2) 定期的な見直し、継続的な実施が求められる取組
取組名	4 業務委託等の活用		
推進課	政策企画課		
目的	行政サービスを効果的かつ効率良く提供し、市民サービスを向上させるための業務委託について検討する。		
実施項目	<p>①業務委託の活用 業務の必要性、効率性を精査し、質の高い行政サービスの提供が可能となる事業について、業務委託を検討する。</p> <p>②指定管理者制度の検証 現在の指定管理者制度について検証し、より有効な施設の管理に向けて今後の在り方を検討する。</p>		
実績及び今後の方向性 (年度末に記入)	<p>実績</p> <p>①物価高騰の影響を受けやすい低所得世帯を支援するために実施した給付金の支給について、可能な限り速やかに支給できるよう、業務委託を活用した。</p> <p>②健康増進センターについて、令和6年度からの次期指定管理者の候補者選定及び指定管理者の指定を行った。</p>	<p>今後の方向性</p> <p>①業務委託を活用するにあたっては、業務の効率性だけでなく、サービスの質や情報セキュリティの安全性などが確保されるよう、実施にあたっては、十分に業務を精査した上で事業者の選定を行うとともに、業務が適切に実施されるよう、業務所管課において監理を行っていく。</p> <p>②現在60施設で実施している指定管理業務のうち、59施設の指定期間が令和8年度末で終了となることから、指定管理者の次期選定に向けた課題の整理や施設管理のあり方について検討を行う。</p>	

朝霞市行政改革推進実施計画 【令和5年度】

シート番号	8	分類	(2) 定期的な見直し、継続的な実施が求められる取組
取組名	5 機能的な組織づくり		
推進課	政策企画課		
目的	社会状況の変化に伴って多様化する行政需要に対し、機動的に対応するための組織づくりを図る。		
実施項目	<p>①組織機構の見直し 多様化する行政需要に対応するため、組織機構の見直しを行う。</p> <p>②審議会の見直し 性質の似た附属機関が設置されないよう、審議会等の在り方を検討する。</p>		
実績及び今後の方向性 (年度末に記入)	<p>実績</p> <p>①令和5年度は組織機構の見直しを行い、令和5年度末をもって、新型コロナウイルスワクチン接種推進室を廃止した。また複数の部署に関連する業務や限られた期間内に処理する必要のある業務について、3つのプロジェクト・チームを設置し対応を行った。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・花火打ち上げプロジェクト・チーム</li> <li>・電力・ガス・食料品等価格高騰重点交付金プロジェクト・チーム</li> <li>・(仮称)朝霞市福祉等複合施設建設プロジェクト・チーム</li> </ul> <p>②各課に対し、毎年度、所管する審議会等の状況について照会を行い、事務内容等の把握や事務が終了した審議会等については速やかに廃止するように努めている。</p>	<p>今後の方向性</p> <p>①組織機構の見直しについては、多様化する行政需要に対応していくために、継続して検討を行っていく。</p> <p>②審議会の見直し、在り方については、運用の効率化などの観点から、会議体の役割や性質、統廃合も含め引き続き検討を進めていく。</p>	

朝霞市行政改革推進実施計画  
【令和5年度実績報告】  
(令和6年 月発行)

発行 朝霞市  
編集 政策企画課  
〒351-8501  
埼玉県朝霞市本町 1-1-1  
電話 048-463-1111(代表)  
URL <http://www.city.asaka.lg.jp/>

令和6年度外部評価委員会(第6回)事前質問・回答② (令和5年度行政改革の結果検証)

資料6-2-2

質問番号	シート番号・取組名	委員からの質問	担当課	担当課からの回答	資料請求	請求する資料の内容	委員名
2-1	2 デジタル化の推進	会議録作成に要する時間に関しては従来の半分程度と試算が出ており、実質もそうであれば大幅な削減が見込まれる事が分かりましたが、AI-OCR、RPA導入による削減時間に関して、各課の事務時間はどれくらいの割合削減できたのでしょうか。 また、その作業に従事する人員数が何人か、もしくは人数の変動があったのか分かれば教えてください。	デジタル推進課	AI-OCR、RPA導入により、課税課の軽自動車税の申告に係る事務では約35%、長寿はつらつ課の要介護認定・要支援認定申請に係る事務では約14%の事務時間の削減効果があったと試算しています。 また、対象の事務作業に従事する人員数は、担当係の人数として、課税課で3人、長寿はつらつ課で6人の職員が、他の事務も担当しながら携わっています。なお、導入に伴う人数の変動はありませんが、削減により生まれた時間分を、職員対応が必要な相談・企画等の業務に充てることで、市民サービスの向上を図っていきます。	-		吉田委員
2-2	3 公共施設等の計画的な管理・運営	庁舎以外の施設のLED化は進んでいますか。また、今後進めていく予定はありますか。	財産管理課	朝霞市公共施設等マネジメント実施計画に位置づく施設のLED化実施率 施設全体:約9%、施設の一部:約55%、未実施:36%  今後、同計画に基づき、長寿命化改修工事や大規模改修工事の際に着手していくほか、既存の設備が故障した際などに、順次交換していくこととなります。	○	市内公共施設のLED化の割合	緑川委員
2-3	4 予算編成事務の見直し	各部署からの提案内容について、新規及び拡充、主な内容を参考までに教えてください。	政策企画課	令和6年度当初予算における新規及び拡充の取組については、遺族が行う行政手続をワンストップで支援する「おくやみコーナーの設置」や「こども医療費を通院・入院ともに18歳まで無償化」とすることなどがあります。 行政改革の取組に関連するものとしては、デジタル化の推進の関連で、「電子決裁・文書管理システムの導入」や「課税課における申請書作成支援システムの導入」などが挙げられます。 また、業務委託等の活用では、令和6年度から新たに「介護認定調査及び認定審査事務の業務委託」を開始します。	-		志摩委員
2-4	5 財源の確保	補助事業や使用料について適正化を図るためには、市民に対する説明が必須だと考えられますが、どのように説明を行いますか。	財政課	社会経済情勢や市民ニーズなどを踏まえ、補助事業や使用料の見直しを行う場合は、広報や市ホームページを通じて周知を図っていきますが、特に市民生活への影響が大きい場合は、説明する機会を設けて周知を図っていきます。	-		緑川委員
2-5	6 市民との協働の推進	職員の意識啓発を図るための外部講師と出席者(若手職員)について、講師の内容と出席者の声をお聞かせください。	政策企画課	「市民参画と協働のまちづくりを進めるために」と題して、地域、企業、行政など、多様な主体の協働による社会課題解決型事業の企画立ち上げ、担い手育成、実行支援などに多数携わり活躍されている(株)エンパブリック代表広石拓司氏を講師として招き、市民参画及び協働のあり方を考えるきっかけづくりを目的とした講演会を開催しました。 実際に携わっている取組の事例を交えながらの講演内容で、市民参画や協働に携わったことのない職員にも分かりやすい内容でした。  【出席者の声】 ・市役所職員と地域住民には、課題解決を進めていく過程で得意な点と苦手な点が、どちらにもあることを実感させられた。今後、地域住民と協働する際には、互いの苦手な点をカバーし合っていくべきであると思う。 ・行政の施策や方針について問うという立場ではなく、同じスタートラインに立って一緒に考えていくという立場であることを市民に示せるようにしたい。 ・アンケートを取るよりも、市民との対話の中から意見が得られる事があるという内容について、実際に運営する事業で思いあたる場面があり、今後そういった機会をより大切にしていきたい。	-		志摩委員

質問番号	シート番号・取組名	委員からの質問	担当課	担当課からの回答	資料請求	請求する資料の内容	委員名
2-6	6 市民との協働の推進	なぜ地域での活動に関心がないのか、その理由は分かっていますか。	地域づくり支援課	市民活動に関する市民の意向については、令和4年度に市政モニターアンケートを実施しています。その中で、市民活動をしない理由は、きっかけがないから、仕事が忙しい、参加方法が分からないという回答が上位を占めていました。そのため、広報あさかや市ホームページでの情報発信、市民活動ガイドブックの配布、パネル展の開催等により、市民活動団体の周知・啓発に努めています。	○	左記が分かるアンケート結果等	緑川委員
2-7	6 市民との協働の推進	「様々な世代の市民」が市政へ参画するよう推進するために、どのような工夫を行いましたか。	政策企画課	現在進めています第6次朝霞市総合計画の策定では、市内小中学校の児童・生徒に配布されているタブレット端末を使ったWEBアンケートを実施したほか、東洋大学の学生に対してアンケート調査を実施しました。この後も、今年8月に開催される彩夏祭において、小・中学生を対象とした「朝霞を将来どんなまちにしたいか」という視点での聴き取り調査や、朝霞高校及び朝霞西高校の生徒とワークショップを通して意見を聴く予定となっています。そのほかにも、転出入者を対象とした調査では、手続きの待ち時間を利用して、職員が直接声掛けをして聴き取り調査を行うなど、少しでも多くの声を聴くため、年代や属性に応じて様々な手法を取り入れています。また、今年1月に開催した市民ワークショップでは、保育ボランティアを活用し、お子さん連れでも参加しやすい環境を準備しました。	-		緑川委員
			市政情報課	市政モニターの募集に当たり、性別、年齢、地域を考慮し、無作為に抽出した18歳以上の2,000人に案内を送付しています。また、今年度からは、小学4年生から高校3年生年齢相当の方を対象としたこどもモニターを募集しており、今後、市政に関するアンケートを実施する予定です。			
2-8	6 市民との協働の推進	以前、何らかのアンケートが市から無作為で送られてきた時、突然であった事と、見慣れないサイズの封筒、質問量の多さから答える気になれず放置してしまった経験があります。協働や参画を促すには、取っ付きやすさも重要な要素かと考えるのですが、元々市政に興味薄い市民に対し尻込みしづらいような依頼方法、解答方法など検討はされているのでしょうか。具体的に改善していることなどあれば教えてください。	政策企画課	現在策定作業を進めている第6次朝霞市総合計画に関するアンケートのうち、市民意識調査については、内容を精査し設問数の絞り込みを行いました。計画の対象が市政全般で、内容が多岐にわたるため、アンケートの量も多くなるなど、調査の内容によっては、回答が難しいものもあると認識しています。総合計画の策定に当たっては、市民意識調査以外にも、属性や年齢に応じたアンケートを用意し、対象者に応じて回答しやすい質問の設定に努めました。例えば、質問番号7に記載しました小・中学生を対象としたアンケートでは、児童・生徒に配布されているタブレット端末を使用するとともに、質問数を2問に限定しました。また、今回の総合計画に関するアンケートでは、紙面での回答の他、Web回答も可能としており、隙間時間を活用して回答いただけるよう、回答途中で回答内容の保存をすることが可能となりました。	○	実際に対象者に届くアンケート(市民意識調査)一式	吉田委員
			市政情報課	市が実施する様々なアンケート調査に市民の方が安心、納得して回答できるよう、今年度から市ホームページにアンケート実施状況を掲載しています。			
2-9	7 業務委託等の活用	現在の指定管理者は、どのように決定したのですか。また、59施設において次期選定が必要となりますが、具体的にどのような点を検討するのですか。	政策企画課	指定管理者の選定については、まず、施設を所管している部署に設置しました「指定管理者選定委員会幹事会」にて、これまでの実績等を踏まえ、引き続き指定管理者による管理とするのか、どのように選定するのか(公募・非公募)などを検討した上で、候補者の選定を行います。その後、幹事会での検討結果を基に、評価結果の審査及び候補者の選定を「指定管理選定委員会」で行い、その候補者は、議会の議決により「指定管理者」となり、協定を締結しています。本市では、指定管理者制度を運用するに当たり、「公の施設の指定管理者制度に関する基本指針」や締結する協定書の「モデル協定書」、「モニタリング標準マニュアル」を定めており、必要に応じて見直しを行いながら対応しているところです。前回、令和4年度からの指定管理者選定の検討を行った際には、災害時の役割分担について協定書へ明記する内容の改訂を行いました。次期選定に向けた検討の内容については、現在、指定管理者制度導入施設の所管課を対象に、課題の抽出を行っており、各課から出された課題を基に、上記の基本指針等の見直しについて検討を行う予定となっています。また、次期選定に当たっては、これまでの管理運営方法や選定方法等に縛られることなく、「より効果的かつ効率的に施設の設置目的を達成できる」方法の採用に向け検討を行っていきたいと考えています。	-		緑川委員

朝霞市公共施設等マネジメント実施計画に位置づく施設のLED化調べ

令和6年6月1日時点

NO	施設名	所管課	LED化の有無 (全体or一部)	運用開始年月
1	消防団第一分団詰所	危機管理室	無	
2	消防団第二分団詰所	危機管理室	無	
3	消防団第三分団詰所	危機管理室	無	
4	消防団第四分団詰所	危機管理室	無	
5	消防団本部詰所兼第五分団詰所	危機管理室	有(全体)	平成30年4月～
6	消防団第六分団詰所	危機管理室	有(全体)	令和5年4月～
7	消防団第七分団詰所	危機管理室	無	
8	消防団第八分団詰所	危機管理室	無	
9	市役所	財産管理課	有(全体)	令和5年4月～
10	仲町市民センター	地域づくり支援課	有(一部)	修繕時に順次LED化
11	朝志ヶ丘市民センター	地域づくり支援課	有(一部)	修繕時に順次LED化
12	市民会館(ゆめぼれす)	地域づくり支援課	有(一部)	修繕時に順次LED化
13	根岸台市民センター(児童館・シルバーサロン含む)	地域づくり支援課	有(一部)	修繕時に順次LED化
14	宮戸市民センター	地域づくり支援課	有(一部)	修繕時に順次LED化
15	栄町市民センター	地域づくり支援課	有(一部)	修繕時に順次LED化
16	溝沼市民センター	地域づくり支援課	有(一部)	修繕時に順次LED化
17	弁財市民センター(シルバーサロン含む)	地域づくり支援課	有(一部)	修繕時に順次LED化
18	朝霞市斎場	地域づくり支援課	有(全体)	平成27年6月～
19	膝折市民センター(児童館・シルバーサロン含む)	地域づくり支援課	有(一部)	修繕時に順次LED化
20	浜崎農業交流センター	産業振興課	有(一部)	修繕時に順次LED化
21	産業文化センター(図書館北朝霞分館含む)	産業振興課	有(一部)	修繕時に順次LED化
22	リサイクルプラザ(エコネットあさか)	資源リサイクル課	無	
23	内間木支所【R6耐震改修実施】	内間木支所	有(一部)	修繕時に順次LED化
24	総合福祉センター(はあてびあ)(児童館・老人福祉センター含む)	福祉相談課	有(一部)	修繕時に順次LED化
25	特別養護老人ホーム(朝光苑)	長寿はつらつ課	有(全体)	令和5年11月～
26	栄町高齢者地域交流室	長寿はつらつ課	無	
27	溝沼複合施設(児童館・保育園・老人福祉センター含む)	こども未来課	有(一部)	修繕時に順次LED化
28	きたはら児童館	こども未来課	有(一部)	修繕時に順次LED化
29	ほんちょう児童館	こども未来課	有(全体)	令和元年10月～
30	泉水保育園	保育課	無	
31	北朝霞保育園	保育課	無	
32	栄町保育園	保育課	有(一部)	修繕時に順次LED化
33	さくら保育園	保育課	有(一部)	修繕時に順次LED化
34	宮戸保育園	保育課	有(一部)	修繕時に順次LED化
35	根岸台放課後児童クラブ	保育課	無	
36	膝折放課後児童クラブ	保育課	有(一部)	修繕時に順次LED化
37	栄町放課後児童クラブ	保育課	有(一部)	修繕時に順次LED化
38	本町放課後児童クラブ	保育課	有(一部)	修繕時に順次LED化
39	岡放課後児童クラブ	保育課	無	
40	寺町放課後児童クラブ	保育課	無	
41	仲町保育園	保育課	有(一部)	修繕時に順次LED化
42	泉水放課後児童クラブ	保育課	無	
43	朝志ヶ丘放課後児童クラブ	保育課	無	
44	浜崎放課後児童クラブ	保育課	無	
45	溝沼放課後児童クラブ	保育課	無	
46	保健センター	健康づくり課	有(一部)	修繕時に順次LED化
47	健康増進センター(わくわくどーむ)	健康づくり課	有(一部)	修繕時に順次LED化
48	朝霞台駅南口地下自転車駐車場	まちづくり推進課	有(一部)	修繕時に順次LED化
49	朝霞台駅南口第1自転車駐車場	まちづくり推進課	有(一部)	修繕時に順次LED化
50	北朝霞駅東口地下自転車駐車場	まちづくり推進課	有(一部)	修繕時に順次LED化
51	朝霞駅東口立体自転車駐輪場	まちづくり推進課	有(一部)	修繕時に順次LED化
52	朝霞駅南口地下自転車駐車場	まちづくり推進課	有(一部)	修繕時に順次LED化
53	朝霞駅南口原動機付自転車駐車場	まちづくり推進課	有(一部)	修繕時に順次LED化
54	朝霞駅東口地下自転車駐車場	まちづくり推進課	有(一部)	修繕時に順次LED化
55	青葉台公園管理事務所	みどり公園課	無	
56	水久保公園管理施設	みどり公園課	無	
57	博物館	文化財課	有(一部)	修繕時に順次LED化
58	埋蔵文化財センター	文化財課	無	
59	中央公民館(コミュニティセンター・女性センター含む)	中央公民館	有(一部)	修繕時に順次LED化
60	西朝霞公民館	中央公民館	有(一部)	修繕時に順次LED化
61	北朝霞公民館	中央公民館	有(一部)	修繕時に順次LED化
62	東朝霞公民館	中央公民館	有(一部)	修繕時に順次LED化
63	南朝霞公民館	中央公民館	有(一部)	修繕時に順次LED化
64	内間木公民館	中央公民館	有(一部)	修繕時に順次LED化
65	武道館	生涯学習・スポーツ課	無	
66	朝霞中央公園 陸上競技場	生涯学習・スポーツ課	無	
67	朝霞中央公園 野球場	生涯学習・スポーツ課	無	
68	青葉台公園フィールドハウス	生涯学習・スポーツ課	無	
69	滝の根テニスコート	生涯学習・スポーツ課	無	
70	内間木公園弓道場	生涯学習・スポーツ課	無	
71	溝沼子どもプール	生涯学習・スポーツ課	無	
72	総合体育館	生涯学習・スポーツ課	有(全体)	令和2年8月～
73	図書館	図書館	有(一部)	修繕時に順次LED化
74	子ども相談室	教育指導課	有(一部)	修繕時に順次LED化
75	溝沼学校給食センター	学校給食課	有(一部)	修繕時に順次LED化
76	浜崎学校給食センター	学校給食課	有(一部)	修繕時に順次LED化

LED化状況	施設数	実施率(%)
全体済	7	9.2
一部済	42	55.3
未実施	27	35.5
合計	76	100

# 令和4年度 第2回市政モニターアンケート結果

朝霞市 市政情報課

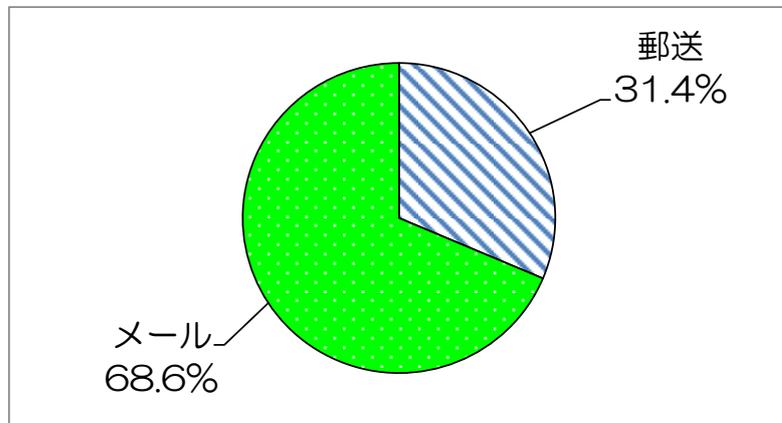
※構成比率は、回答者数を基数として百分率（％）で表示しています。百分率は、小数点以下第2位を四捨五入して算出しているため、合計が100%にならない場合があります。また、複数回答の場合は、構成比率の合計が100%を超える場合があります。

※回答対象者数よりも回答数が多い場合があります。

※自由記述の表現はできる限り原文のまま記載していますが、一部表現を修正しているところがあります。

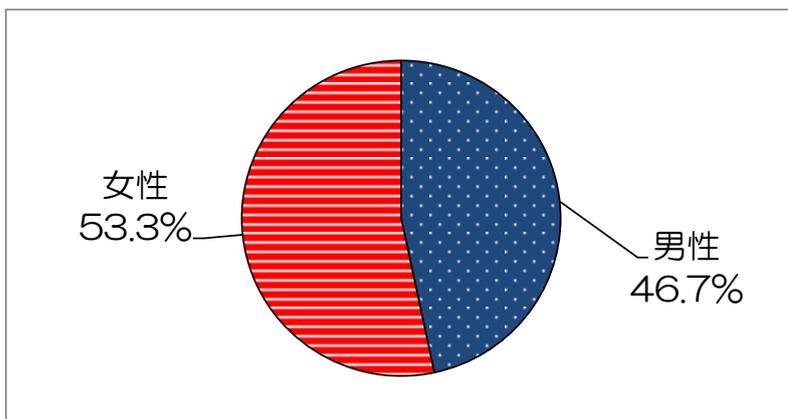
- テーマ 市民活動について
- 実施期間 令和4年11月21日（月）から令和4年12月5日（月）まで
- 調査対象者 朝霞市市政モニター 377名
- 回答者数 255名（回答率 67.6%）
- 回答方法

回答方法	人数	構成比（%）
郵送	80	31.4
メール	175	68.6



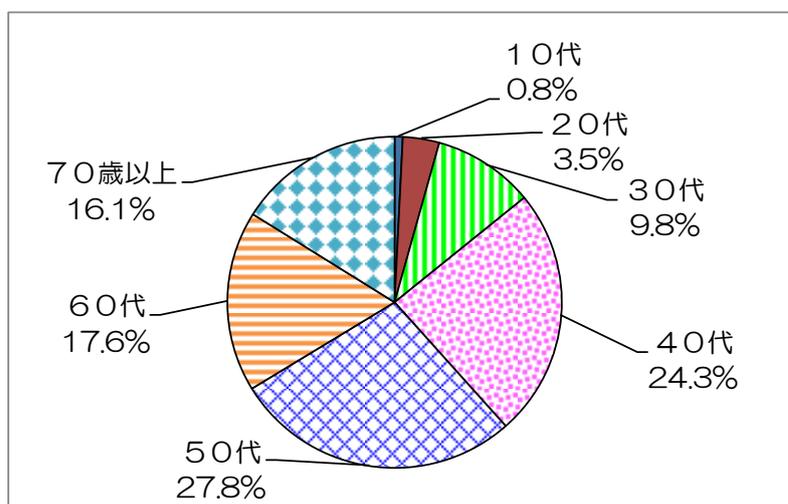
問1. あなたの性別を教えてください

性別	人数	構成比（%）
男性	119	46.7
女性	136	53.3



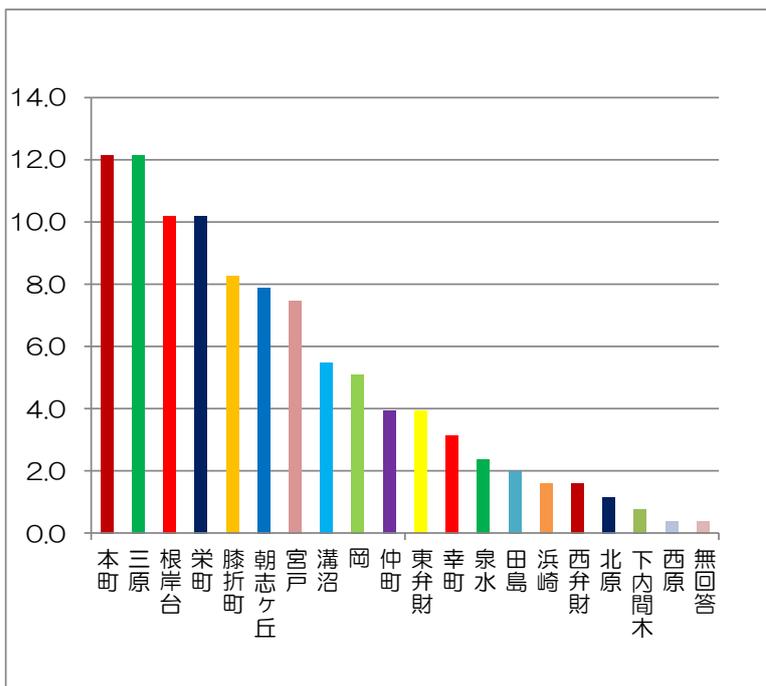
問2. あなたの年齢を教えてください。

年代	人数	構成比（%）
10代	2	0.8
20代	9	3.5
30代	25	9.8
40代	62	24.3
50代	71	27.8
60代	45	17.6
70歳以上	41	16.1



問3. お住まいの地域を教えてください。

地域	人数	構成比%
本町	31	12.2
三原	31	12.2
根岸台	26	10.2
栄町	26	10.2
膝折町	21	8.2
朝志ヶ丘	20	7.8
宮戸	19	7.5
溝沼	14	5.5
岡	13	5.1
仲町	10	3.9
東弁財	10	3.9
幸町	8	3.1
泉水	6	2.4
田島	5	2.0
浜崎	4	1.6
西弁財	4	1.6
北原	3	1.2
下内間木	2	0.8
西原	1	0.4
無回答	1	0.4
合計	255	100%



問4. あなたは、現在、市民活動をしていますか。

回答内容	回答件数	構成比 (%)
1. 現在も市民活動をしている	31	12.2
2. 以前に市民活動をしていた	14	5.5
3. 市民活動の経験がない	208	81.6
無回答	2	0.8

★問5～問8は、問4で「1. 現在も市民活動をしている」または「2. 以前に市民活動をしていた」と回答した方（45名）にお伺いします。

問5. 市民活動をしたきっかけは何ですか。(複数回答可)

回答内容	回答件数	構成比 (%)
1. 社会貢献をしたいと思ったから	25	55.6
2. 趣味や特技を生かしたいと思ったから	18	40.0
3. 社会的繋がりが欲しいと思ったから	9	20.0
4. 時間に余裕があり、何か活動したいと思ったから	5	11.1
5. 気になる活動を見つけたから	11	24.4
6. 友人を増やしたいと思ったから	5	11.1
7. 周囲の人(家族や友人・知人)から勧められたから	6	13.3
8. 市の広報やホームページをみて	9	20.0
9. 市民活動団体のチラシやホームページ等をみて	3	6.7
10. 市や団体の事業に参加してみた	4	8.9
11. その他	3	6.7

※構成比は、問4で「1. 現在も市民活動をしている」または「2. 以前に市民活動をしていた」と回答した方(45名)を基数として算出しています。

【その他のご意見】

- 私は、特別な動機や意識があるわけではないのですが、10代から時期がきたら市民活動に参加するつもりでいました。高齢になったら、若い人にかわいがってもらいながら生きていくつもりでした。(60代 女性)
- 団体の方からお声がけされた。(40代 女性)
- 市民活動の定義がよくわかりませんが、子どもたちがスポーツの体験をできる活動を何回かお手伝いしました。(40代 女性)

問6. 市民活動をすることについて、考え始めたのは何歳ごろですか。

問7. 市民活動をはじめたのは何歳ごろですか。

回答内容	問6		問7	
	回答件数	構成比 (%)	回答件数	構成比 (%)
1. 30代以前	23	37.1	21	35.0
2. 40代	11	17.7	11	18.3
3. 50~54歳	9	14.5	6	10.0
4. 55~59歳	2	3.2	5	8.3
5. 60~64歳	3	4.8	5	8.3
6. 65~69歳	4	6.5	3	5.0
7. 70歳以上	3	4.8	4	6.7
8. 覚えていない	7	11.3	5	8.3

※構成比は、実際に回答をいただいた方(問6は62名、問7は60名)を基数として算出しています。

問8. 市民活動をして良かったと思うことは何ですか。(複数回答可)

回答内容	回答件数	構成比 (%)
1. 社会貢献ができたと感じられた	23	51.1
2. 知識・情報が増えた	20	44.4
3. 自分の居場所が増えた	11	24.4
4. 時間を有意義に使えるようになった	11	24.4
5. 健康になったと感じることができた	6	13.3
6. 新しい友人・知人を得ることができた	23	51.1
7. 地域住民との仲が深まった	14	31.1
8. 家族との関係が良くなった	4	8.9
9. 特になし	5	11.1
10. その他	3	6.7

※構成比は、問4で「1. 現在も市民活動をしている」または「2. 以前に市民活動をしていた」と回答した方(45名)を基数として算出しています。

【その他のご意見】

- 子どもたちのために何か残せるものがあればと協力させていただきました。(30代 女性)
- 私と出会えたことで、今よりも前進できる意欲を見届けられたこと。(50代 女性)
- 人の役に立てた。(50代 女性)

★問9～問10は、問4で「2. 以前に市民活動をしていた」、「3. 市民活動の経験がない」と回答した方(222名)にお伺いします。

問9. あなたが、市民活動をしない(できない)理由は何ですか。(複数回答可)

回答内容	回答件数	構成比 (%)	回答内容	回答件数	構成比 (%)
1. やりたい活動がない	24	10.8	9. 家事が忙しい	26	11.7
2. まだ、やる時期ではない	8	3.6	10. 子育てが忙しい	24	10.8
3. 参加方法が分からない	81	36.5	11. 趣味で忙しい	12	5.4
4. きっかけがないから	98	44.1	12. 興味がない	9	4.1
5. 誘われない	19	8.6	13. 定期的な時間を要する	39	17.6
6. 人付き合いが得意ではない	23	10.4	14. 面倒だと思う	12	5.4
7. 高齢・病気のため	5	2.3	15. 特に理由はない	19	8.6
8. 仕事が忙しい	93	41.9	16. その他	12	5.4

【その他のご意見】

- 家族の介護のため。(50代 女性) 他1名
- 自分で行う場合、活動に参加しても家族の理解を得られない。自己責任で、事故があった場合のサポートや保障がない。(70歳以上 男性)
- 曜日が合わないから。(40代 女性)
- 団体に所属すると面倒だから。(個人で活動をしたい)(40代 女性)
- 時間や人に合わせるのが煩わしいから。(70歳以上 男性)
- パワハラやいじめがあると聞いたことがあるから。(60代 女性)
- どんな活動があり、どこで情報が得られるか分からないため。(40代 女性)
- 市民活動がどんなものなのか分からないから。(30代 女性)
- 活動の結果が見えないから。(60代 男性)
- 上記に「市民活動」の定義がありますが、日常生活の中ではよく分からないし、接触もないから。(60代 男性)
- 市民活動という存在自体知らなかったから。(30代 女性)

問10. 市民活動に興味はありますか。

回答内容	回答件数	構成比 (%)
1. 興味があり、活動しよう(したい)と思っている	96	40.3
2. 全く興味がない	25	10.5
3. わからない	117	49.2

※構成比は、実際に回答をいただいた方(238名)を基数として算出しています。

問11. 問10で「1. 興味があり、活動しよう(したい)と思っている」と回答した方(96名)にお伺いします。どのような後押しがあれば、市民活動をしようと思えますか。(複数回答可)

回答内容	回答件数	構成比 (%)
1. 自分に合った活動を紹介してくれる窓口があれば	50	52.1
2. インターネットで情報収集や相談ができれば	39	40.6
3. 始め方の参考になるパンフレットなどがあれば	40	41.7
4. 知人、近所の人などから誘われれば	14	14.6
5. 始める前に体験ができれば	19	19.8
6. 活動している人から話を聞く機会があれば	26	27.1
7. 地域活動のために休暇や時間があれば	34	35.4
8. その他	3	3.1

【その他のご意見】

- 広報誌などで掲載があり、どんな活動があって、どんな参加方法があるのか教えてもらえたら、自分のできる範囲で参加できると思う。(40代 女性)
- テーマ、目的、目標、時間、期限及び達成に対する結果や分析が明確であること。活動目的が曖昧なものには参加したくない。(60代 男性)
- 興味がある活動は平日開催が多いため、同じ活動内容で休日でも参加できるものがあるとよいです。(50代 女性)

問12. 問10で「1. 興味があり、活動しよう(したい)と思っている」と回答した方(96名)にお伺いします。あなたが、市民活動団体の活動情報等を入手する場合、利用する広報媒体は何ですか。(複数回答可)

回答内容	回答件数	構成比(%)
1. 広報あさか	24	25.0
2. 市のホームページ	58	60.4
3. 市の掲示板(ポスターやチラシ)	29	30.2
4. 市のSNS(Twitter、Facebookなど)	16	16.7
5. 新聞・雑誌	10	10.4
6. ミニコミ誌	6	6.3
7. 団体のホームページ・メール	13	13.5
8. 団体のSNS(Twitter、Facebookなど)	10	10.4
9. 団体のポスター・チラシ	13	13.5
10. 特になし	9	9.4
11. その他	5	5.2

【その他のご意見】

- 活動団体を紹介している冊子。(70歳以上 男性)
- ネット検索。(60代 男性)
- 個人の方のリツイートやフェイスブック。(40代 女性)
- 知り合いからの勧誘。(70歳以上 男性)
- 家族や知り合い、友人から。(40代 女性)

問13. 広報あさかで市民活動団体の活動情報等を掲載している「市民活動ニュースレター」(2か月に1度・奇数月)をご覧になったことがありますか。

回答内容	回答件数	構成比(%)
1. ある	75	29.4
2. ない	176	69.0
無回答	4	1.6

問14. 問13で「1. ある」と回答した方（75名）にお伺いします。記事は興味のある内容でしたか。

回答内容	回答件数	構成比 (%)
1. 興味がある内容だった	44	58.7
2. 興味がない内容だった	42	56.0

※構成比は、実際に回答をいただいた方（86名）を基数として算出しています。

問15. 問14で回答した具体的な内容をお聞かせください。

【「興味がある内容だった」と回答された方のご意見】

- 今でも参加したいと思っています。まだ理解できないことが多くあります。  
（70歳以上 女性）
- 料理教室の案内、スポーツサークルの会員募集。（70歳以上 男性）
- 心の病を抱える人の支援、外国人の生活のサポート、外国出身の親が安心して子育てできるように。（40代 女性）
- 「予防医学を学び、健康寿命を延ばそう！」について「活動を始めたきっかけ」がとてもよいと思った。（70歳以上 男性）
- たまに参加する程度でよいのかと思っていた。（70歳以上 男性）
- 人が目標を持って意欲的に活動している姿は、生き生きとしていて興味があります。  
（70歳以上 男性）
- その時に行われている活動を把握するために有効に活用させていただいている。  
（70歳以上 男性）
- 健康を維持するには免疫力や抵抗力をつけていくことが大事であると思う。  
（60代 女性）
- 11月号の掲載内容を見て、一番大切な健康問題（免疫の複雑さ）について再認識しました。（70歳以上 女性）
- 「広報あさか」は、なるべく拝読しようと思いつつも、なかなか読み飛ばしが多く、情報を把握しきれいていません。それをカバーする意味でも、SNSやホームページで情報開示（二重の情報提供）があるとありがたいと思っています。（30代 女性）
- 手話講座や認知症についての講座は興味があった。でも時間が合わず、年齢制限など縛りで無理だった。（40代 女性）
- 活動団体の意欲を感じる。（60代 女性）
- 種類が豊富であること。（50代 女性）
- 11月号ウイルス、免疫、抗ウイルス薬などの関係性などに興味があります。  
（70歳以上 女性）
- 「朝霞に桜の名所をつくる会」を読み、長年地道な活動を続けられ108本もの桜を植樹して下さったことに感謝の念を抱きました。人の関わりなしには美しい桜が咲かないことを認識しました。（60代 女性）
- まちづくり、環境問題。（50代 男性）
- 活動情報のみでも興味が湧く。（50代 男性）

- まだ現役で働いていて、土日休みではないのでなかなか時間をとる事が難しい。  
(50代 男性)
- こども食堂は興味がありました。コロナで活動がどうなっているのかも気になります。  
(50代 女性)
- 「つながる健康サークル」。健康寿命を高めることに今も努めており、共感した。  
(70歳以上 男性)
- 活動内容のわかりやすさ。(30代 男性)
- 具体的なコンテンツはすぐに出てこないが、さまざまな活動が記載されていて興味深いものだった。(30代 男性)
- 中学生・高校生などの学習支援のボランティアに興味があるため。(70歳以上 男性)

【「興味がない内容だった」と回答された方のご意見】

- 具体的に覚えておりません。(40代 男性) 他3名
- 記憶に残っていないので興味のないものだったと思います。(50代 女性) 他2名
- あまり気に留めていなかった。(60代 女性) 他1名
- 興味がないので覚えていない。(70歳以上 男性)
- 自分にとっては関心が無かった。(50代 男性)
- 内容が少ない、興味のある内容ではなかった。(70歳以上 男性)
- 各活動についての記述に感じるものがなかった。(60代 女性)
- ニュースレターの欄がある事は知っているが細かく見た事がないので何があるのかもわかっていない。(30代 女性)
- 活動の内容がよく分からなかった。(60代 女性)

問16. 市では、市民活動を始めようと考えている方の拠点施設として、市民活動支援ステーション・シニア活動センターを設置しています。あなたは、市民活動支援ステーション・シニア活動センターを利用されたことがありますか。

回答内容	回答件数	構成比 (%)
1. ある	7	2.7
2. ない	239	93.7
無回答	9	3.5

問17. 問16で「2. 利用したことがない」と回答した方(239名)にお伺いします。  
市民活動支援ステーション・シニア活動センターを利用したことがない最大の理由として、最も当てはまる選択肢一つに○をつけてください。

回答内容	回答件数	構成比(%)
1. 利用する必要がないから	44	18.0
2. 何をしているか、わからないから	34	13.9
3. どこにあるか、知らないから	32	13.1
4. 施設の存在を知らなかったから	123	50.4
5. その他	11	4.5

※構成比は、実際に回答をいただいた方(244名)を基数として算出しています。

【その他のご意見】

- 仕事で時間がなかなか取れないため。(70歳以上 女性) 他2名
- シニアと書いてあると自分とは関係が無いと感じるため。(50代 女性) 他1名
- 時間がないから。(60代 女性)
- フルタイム勤務中であり、介護も行っているため。(70歳以上 男性)
- 窓に掲示されているポスターは見たことがあります。(50代 女性)
- 介護をしていて気持ちに余裕がないので。(50代 女性)
- 現在正社員で仕事をしているため、活動に参加出来ないため。(60代 女性)
- 私のやりたい市民活動(町内会活動)には利用する必要性を感じないため  
(70歳以上 男性)

問18. 市では、令和4年度から市民の皆さんが、市内で開催される各種イベントで活躍できる「イベントボランティア」登録制度を開始しました。あなたは、この制度を知っていますか。

回答内容	回答件数	構成比(%)
1. 知っている	16	6.3
2. 知らない	231	90.6
無回答	8	3.1

問19. 問18で「1. 知っている」を選択した方(16名)にお伺いします。あなたが、イベントボランティアとして登録した場合、どのようなイベントに参加してみたいと思いますか。

- |  |
|--|
| <ul style="list-style-type: none"> <li>●知っていたが、仕事で参加出来なかった。今はアルバイトに変わったので、今後は参加を検討する。(60代 男性)</li> <li>●今は浮かびません。コロナ禍であることがネックです。(50代 女性)</li> <li>●スポーツ関係。(60代 女性)</li> </ul> |
|--|

- どのように参加してよいのか、また、この年になって、私ができることがあるのかなと考えてしまいます。(70歳以上 女性)
- 大人から子どもまで学べ、笑顔あふれるイベント。マスクが当たり前で表情が無くなっている今、顔全体が見えずとも楽しんでいるとわかるイベント。(40代 女性)
- 残念ながら、私には登録して活動する機動力が低下してしまいました。祭りの誘導や、ポスター作成、企画への参画は困難だと思います。(60代 女性)
- 公共交通機関で、簡単に行けるような場所であるなら参加してみたいと思います。(50代 女性)
- 農業際、あさかストリートテラス、どんぶり選手権、公民館祭り。(50代 男性)
- 日時が合えば参加したい。(50代 女性)
- 様々な活動に参加してみたいとは思っているが、時間の余裕がない。(50代 男性)
- 現行の作業内容では登録する気もありません。(70歳以上 男性)

問20. 市民活動への理解を深める機会や、活動に参加してもらうには、どのような内容の催しなどがあればよいと思いますか。

- いろんな方法で情報を提供していただけると、拾いやすく協力させていただきやすいです。(30代 女性)
- 小学校、中学校で活動を知らせることで、多くの人を知ることができると思います。(20代 男性)
- お祭りのような催し。(40代 男性)
- 実際に見てもらえるようなものがあればいいと思う。(40代 女性)
- 不定期にストリートテラスなど実施していると思いますが、市民活動の発表や情報をシェアする場を設けるなど、もっと積極的に展開するとよいのではないのでしょうか。(30代 女性)
- 何らかの活動やイベントの横で紹介する。(50代 男性)
- 催しは思い浮かびませんが、ボランティアの方が身に着けているユニフォーム等に「市民ボランティア」などの文字があれば、目にする機会が多くなる気がしました。(40代 女性)
- もう少し時間等に余裕がほしい。講座も午前と午後で分けたり、イベントも友好的な地域の参加をお願いしたりしたらどうでしょうか。(40代 女性)
- 広報以外として、SNSでの発信(ポスター、動画)、学校や企業への動画レターメールなどでの情報提供を行う。現地での催しでは、その場所へ出向いている人という一部の方が対象となるので、出向ける人と出向けない人の対象を広げ、多様化する事がよいと思います。(40代 女性)
- 個々の趣味の集りから始め、徐々に交流を広げる。(60代 男性)
- 土日に行われるものについては、仕事の都合で全く参加ができないため、参加出来る機会が幅広ければよいのには思います。(50代 女性)
- 広報あさかにたくさん載せるとよいと思います。(40代 女性)

- より市民の方が参加する機会があるイベントなどで活動を理解してもらう。  
(40代 女性)
- 講演会や趣味の講座などの開催時に市民活動等の紹介や説明をして理解を深める。単発で参加できる活動を増やせば気軽に参加できそうだが、団体に所属して参加となると、拘束されそうで参加しにくいと思う。(60代 女性)
- スーパーのレジでチラシを貰う。(20代 女性)
- InstagramなどのSNS発信。ぼぼたんを使ったPRなど。(40代 女性)
- 災害対策として、地域で安否確認の取り組みなどをしたらどうか。(50代 女性)
- どのような活動があるのか全く知らないため、体験の機会があればよい。催し内容は、活動内容が、分かるものしかないと思います。(60代 女性)
- 市民活動をしている団体を一堂に集めたイベントを開催し、各団体がブース等を作り、市民が直接、見聞きできるようにする。(60代 男性)
- イベントボランティアに関して、広報などでもっと知ってもらえる様に繰り返し、その内容を掲載する。市役所や町内会の掲示板にイベントボランティアに関して掲示して知ってもらう。(50代 女性)
- 朝霞に関係のある芸能人を使ったPR活動。(40代 女性)
- わかりやすいコマーシャルと、具体的で積極的なインビテーション。(40代 男性)
- イベント時にも新規登録や、参加を呼びかける運動をしてもらえるといいと思います。また、一回だけとか体験だけでもいいよと、手軽に行えるようになればいいなと思う。  
(30代 女性)
- 子どもと親と一緒に参加できるイベント。(40代 男性)
- 興味が無いので分からない。(50代 女性)
- オンライン(ZOOMなど)で参加できる時短家事や料理、子育てに関する豆知識などの教室があれば、育児世代も自宅から気軽に参加できるのかなと思います。  
(30代 女性)
- 催しもさながら、市独自の目立つコスチュームを着る。あるいは、市民活動参加の敷居を低くするように、活動時に旗を立ててアピールする。  
(60代 女性)
- 個人個人によって活動内容への興味が違うと思うので、多方面の催しが定期的に行われればよいと思う。(60代 男性)
- 市民活動が、市民にとって本当に魅力的なものであれば、催しなどに関係なく活動への理解や自発的な参加につながるように思う。そもそもどのような活動があって、何を目的としているのか、その活動を通じてどうしたいのかが明確でなかったりする部分があるように思う。(40代 男性)
- 高齢者を中心としない催しだと参加しやすい。活動している人たちの結束が強すぎと感ずるので、現状は敢えて知らない仲良しグループの団体に入りたいとは思わない。児童館やショッピングセンターでの対人広報活動、チラシ配布しながら知り合いを増やす感じで、新入りでもアウェー感を薄めれば参加しやすくなると思う。(40代 女性)
- 街を活性化する活動や街をきれいにする活動。スポーツイベント。(50代 男性)

- 市民活動支援ステーション・シニア活動センターの活性化が必要と思います。センターが身近に感じ入りやすい雰囲気作りが必要。(60代 男性)
- 食や物のイベントはお客さんとして市民が集まりそうなので、そういう機会に紙を配るとかQRコードを掲示するなどしたらよいと思う。何か市民側から探しやすいようにネット上にイベント情報などがヒットしやすいようにするとよいと思う。個人的にはものづくり、ヨガや体操などの軽い運動、お茶やお花などを習いに行くにはハードルが高く感じるので、気軽に単発で体験できるイベントがあったら参加したいです。  
(40代 女性)
- やりたいという人の相談窓口の充実。(50代 女性)
- 催しよりも、そもそもそういった活動や施設があり、何を行っているか、どこでやっているか等を掲示板であったり回覧板であったり、もっと日頃から目に入りやすい所で掲示していく方がよいのかなと個人的には思います。わざわざ足を運ばなくてはいけない場所だけでのアピールでは関わらない人は全く縁がないままかと思います。  
(30代 女性)
- 現状のままで、新しいものから既存のものまでやってくださればいいと思います。  
(40代 女性)
- 簡単に連絡が取れて、何度も集まったりしない。(40代 女性)
- 市の広報誌で取り上げ、気軽な体験会などもよいのかなと思います。(50代 女性)
- 年齢に応じて、募集して下さったら、参加しやすいです。例えば、60歳以下とか、70歳代可能とか。(70歳以上 女性)
- 年齢問わず参加出来るイベント。鍋まつりや農業祭のような気軽に集まれるイベント。  
(60代 女性)
- 「ボランティアに参加してもらって良かった」という団体の発表の場を作る。  
(50代 女性)
- イベントへの参加。(60代 男性)
- メリットが感じられる企画があれば。(70歳以上 男性)
- 市民活動とは何かからのレベルなので、どういう事を市民活動と言い、「こんなことします」などわかりやすいものがあるといいなと思います。広報はもちろんですが、他に広める機会があるとよい。(40代 女性)
- 広報、ネット、公園掲示板等の様々な場所での案内があると目に付くかなと思います。  
(50代 女性)
- 市民活動体験会。(50代 男性)
- 広報などに紹介されていても見ないと意味がないので、興味を引く催しを考えるだけでなく、日常生活の中で自然に目や耳に入ることが必要だと思います(40代 女性)
- ファミリー層向けの楽しいイベントやワークショップが増えればよいと思います。  
(40代 男性)
- 特設ホームページ等で、内容や時期等を解説し興味を惹かれる構成で定期更新することで認知度向上を図ってみてはいかがでしょうか。(50代 男性)
- もっと宣伝して欲しい。(50代 女性)

- 広報あさかで、市民活動の内容、活動の方法の特集を大きく年に1～2回載せてもらえると活動への理解を深めるきっかけになると思います。(60代 女性)
- 自然豊かな畑や黒目川をいかした催し。(50代 女性)
- 何かのイベントの中で知ってもらおうブースを設置する。スーパーなどで張り紙をする。(40代 男性)
- 知っていたら参加する人は、知らないから参加しないので、駅前での宣伝や公園前の掲示板など、知る機会をまず作り、子どもたちへの社会参加の一環として学校のカリキュラムに入れてもらうなどを行うのもよいかと思います。(40代 男性)
- 積極的な広報、また参加型の催しなどが企画されるとよいのではと思います。(50代 男性)
- 子ども食堂フードバンク。(50代 女性)
- 理解を深める機会としては、市の SNS で団体の活動内容を周知するのがいいかも。中の人の発信で、どんな人たちがどんなことをしているか見えるといいですね。(40代 女性)
- 気軽に参加できるものがあれば。(60代 女性)
- 学生が気軽に参加できるよう日本語が得意でない国の方との交流。(20代 女性)
- LINEやSNSなどネットからの発信、駅での呼びかけ。(20代 女性)
- どんな催しがあるのかわからないからです。(30代 男性)
- 催しというより、まずは広報活動に力を入れたらよいかと感じます。(30代 女性)
- 内容がわかるイベントや体験が出来れば、また日時が合えば参加してみたい。(50代 女性)
- やはり気軽さと、優しさがあり手軽感だと思います。(50代 男性)
- 「どういう内容の催しなどがあればよいと思いますか」というより、朝霞市民として接触する機会がない。子育て等も終わり特に無くなっています。(60代 男性)
- 普段利用している地元のお店は、口コミがわかりやすく情報を得やすいです。朝霞は商工会がまとまっているので、お店経由での発信は参加しやすいと思います。(40代 女性)
- まずはハードルの低い市民活動を多くの人に体験してもらえるような催し。(50代 男性)
- ネットで活動内容が写真付きで具体的、ピンポイントで募集が書いてあり、参加できる人は時間がある時に単発でポチっと出来るシステムがあれば参加しやすい。参加したら提携のお店のパンやお菓子、おにぎりなど、何かに変えられるチケットがもらえるなら積極性が期待できるように思う。小学生、中学生が参加した場合は学校成績に反映され、ポイントをもらえる連動型にするなど参加するのが当たり前になっていけば彼らが成長した時にはボランティアに関わり易い土壌ができていくと思う。(50代 女性)
- 春先に活動を始めようと思う人が多いと思うので広報あさか別冊で市民活動の案内をしてはいかがでしょうか(50代 女性)
- 市民活動を拘束時間別に分類した資料があれば見てみたい。(30代 女性)
- まずは、内容より、きっかけをつくることからと思います。(40代 男性)

- 祭りで屋台とともにチラシを渡す。例えば焼きそばの屋台を営業し、焼きそばと同時に割箸や手拭きを渡すと思われるが、この手拭きや割り箸の袋にちょっとした案内を記載。また、まとめて袋に入れて渡す方式をとるのであれば案内冊子を入れて渡す。食べながら見ると考えられるため、多くの人に認知されると考えられる。ゴミの削減に配慮するのであれば冊子ではなく、口を拭けたり、鼻をかめたりするような紙類として渡せばよい。ただし、ゴミは削減される代わりに、家に持ち帰ってじっくり見る人は減ることが予想される。(10代 男性)
- 他の方々がどのような生活をなさっているのか想像がつかないが、自分に例えると、時間の余裕ができれば、様々なことに参加したいと思っているので、特に催しの工夫などは必要なく、現状でよいのではないかと思う。(50代 男性)
- 内容そのものがまったく分からないので難しい。現実的には働いており時間の余裕もない。(60代 男性)
- 現在、どのような市民活動が行われ、各活動の参加者から活動意義、活動内容、活動予定をご説明頂く機会があればよいと思います。なお、説明会は公民館等でできれば同じ内容を複数回実施頂ければと思います。(60代 男性)
- 彩夏祭での市民活動紹介、市民活動紹介イベント、市のSNSでの団体ごとの紹介と入会方法、市報と共に活動紹介と参加方法紹介パンフレットの封入。(40代 女性)
- 誰でも出来るような内容。気軽に参加できるようなメッセージがあるとよいと思います。(50代 女性)
- どのような市民活動が行われているのか、私自身よくわからないのでポスターなどを駅などに貼って多くのひとに認知してもらうとよいと思います。(60代 女性)
- 市主催のイベントなどで活動内容の紹介・ワークショップなどがあると参加しやすくなると思います。(30代 女性)
- 世代間交流(昔遊び)、青葉台公園などで自然遊び。(10代 男性)
- 子どもたちがメインのイベントや取り組みが増えると、子育て世代には興味を持つ機会になると思います。(40代 男性)
- コロナで現実的ではないと思いますが、小さい地域ごとの催しがあると、参加がしやすいのではないのでしょうか。(70歳以上 女性)
- 家族で四季を感じられるような、楽しみながら学べるイベントなどがあればよいかと思う。(30代 女性)
- 沢山の人々が共感するような活動が望ましいと思います。例えば、シンボルロード、黒目川沿いや主要道路にプランター等で花を育てるといような活動はどうでしょうか。シンボルロードはサツキの頃、黒目川は桜の頃には花はありますが、それ以外には花はなく、淋しく感じるのですが。花があれば、散歩する人も増え、憩いの場所になると思いますが。(70歳以上 男性)
- 定期的なイベントでコーナーを設置してボランティアの募集をしてはどうだろうか。(50代 女性)
- 市報で定期的に大きく取り上げるなどして認知度を上げていくところからだと思います。このアンケートで初めて存在を知りました。(30代 女性)

- 各地域には公民館があると思うが、ここで不定期、定期に拘わらず市民が興味を示す。イベントを開催し、その際にアピールしてはどうか。例えば、マルシェ的なもの、農家や市民農園で収穫された野菜などの販売会など。家庭内の不用品、不用書籍の交換会、趣味製作物の展示会など。(60代 男性)
- 説明会の実施や広報活動のアナウンス。(50代 男性)
- そもそも認知していなかったというか意識が向かなかったので、もっと存在を知ることができるような広報があればよいと思った。(30代 女性)
- 駅周辺にポスター等を貼りアピールする。(40代 男性)
- 謎解きイベントが好きなので、謎解き街歩きなどと絡められたりすると参加しやすいし、関連する物事を知る機会になったりするかもしれない。(50代 女性)
- まずは現時点で活動している団体や内容をPRする。(50代 女性)
- 各所の掲示板への活動紹介の掲載、ストリートテラスなどのイベントでのライトな立ち寄りやすい活動紹介のブースなど。(40代 男性)
- ちょっと思いつきませんが、地道な広報活動でしょうか。(50代 男性)
- 上記の市民活動ステーションを他の場所にも設置し広報活動をより活発に行うホームページ、SNSを活用し写真や動画などで誰でも気軽に知ることのできるようにする。(20代 女性)
- 現在も催しは行われており、数を増やすのは難しいと思う。知らないから参加していないという人も多くいると思うので、既存の活動の広報を強化するのがいいと思う。(30代 男性)
- 各種ボランティアを、分類別に、かつ連絡できるような、一覧できる資料の提供があれば、有意義と思います。(70歳以上 男性)
- 家族や夫婦で参加できる催しがよいのではないか。(50代 男性)
- 分からない。子がない世帯にはなかなか難しそう。(60代 女性) 他1名
- 分からない。(40代 女性) 他2名

**問22. その他、市民活動に関してご意見やご要望などがあれば、自由にご記入ください。**

- 市民活動に意欲的な人だけが対応することになりますが、好きでやってくさっているほうがその活動も盛り上がると思います。意味や意義に賛同していない人がやると楽しいものもそうでなくなってしまうのではと懸念します。(40代 女性)
- 私の子どもは幼稚園児ですが、幼稚園に行っている時間は4～5時間で家事や買い物をするとあっという間にお迎えの時間です。休日は家族で出かけることが多いので、その4～5時間で出来る事があれば活動に参加してみたいと思います。(40代 女性)
- 年齢や職種などの生活背景によって、情報の収集に差があると思います。まずは、認知度を上げる事が必要かと思います。活動は、出来るときに、興味のあるものに参加し、共有できる事ができたらいいのかなと、感じています。(40代 女性)
- あまりどういうものがあるか気にしたことがなかったですが、これを機会に広報あさかななどで見てみます。(40代 女性)

- わが町探検隊のようなものをつくり、各テーマに沿った事例を調査し、市が行うべき施策の参考にするようなことはどうでしょうか。例えば、道路の路面状況、公園の状態、ポイ捨てされているごみの状況、歩道の有無など。(60代 男性)
- ネット上で市民活動一覧や、文化祭みたいなのがあると分かりやすいです。あとは歓迎年齢層や参加方法やイベントも随時、ネットの更新頻度が高ければありがたいです。(40代 女性)
- 市民活動という言葉自体よくわからないので、知る機会があればよいと思いました。(40代 女性)
- 市民活動って何をするのかよく分からない。参加している人が高齢者ばかりだと、参加しても負担が大きくなりそうで不安がある。(40代 女性)
- 広報あさかの情報BOXを見ると、たくさん参加者募集とあるが、仕事をしているうちは限られた時間の中での参加は難しい。仕事を辞めた後、すぐに知らない人の中に入っていく事も勇気が必要。(60代 女性)
- このアンケートに回答しても自分に(市民に)メリットがあると感じにくい。アンケート結果を市議や市長が見てどのように感じたのか感想が知りたい。(70歳以上 男性)
- 参加者を増やすために大学の単位取得、会社の活動休暇、小中高の授業の一貫など。(50代 男性)
- 手当を支給する。(50代 女性)
- そもそも市民活動とはどんなものなのか分からない。どんなものがあるってどんな活動をしているのか分からないため、今回のアンケートは分からないものに対して回答をしている感じになってしまった。(30代 女性)
- 市民活動＝ボランティアというイメージがあり、毎日、仕事をしている方には、敷居が高いように感じます。短時間でも気軽に活動ができることがあれば、広報あさかやチラシなどリリースして目にとまりやすい入り口を検討していただくとよいかと思えます。(60代 女性)
- 市民活動の説明に『その分野は福祉、環境、健康、教育、文化、国際、情報、まちづくり等の様々な活動』とありましたが、意義のある事だと思うので是非市政で支えて欲しいと思います。(50代 男性)
- 仕事も引退したので、人との関わり合いのためにも、自分にあうものがあれば、参加したいです。(60代 女性)
- 様々な市民活動があり、そのお陰で自分が楽しめるひとときがあります。行政の力だけでは足りない部分を補う意味でも市民活動は必要不可欠だと考えます。私は、町内の役員や神社の奉賛会役員を担当して改めて地域の人との繋がりが必要不可欠であることを学びました。(60代 女性)
- 将来的には検討するかもしれない。(50代 男性)
- 私も含め「市民活動って何するの」という方は多いと思いますのでまず知ってもらう事からだと思います。(50代 女性)
- 定年退職後などに、参加したいなと思うものは多くあるので、現状を継続していただくとありがたく思っています。(50代 男性)

- 定期的活動があれば日にち時間が合致しさえすれば参加できるイベントがあるとよいと思います。例えば「毎月～曜日の～時」という駅前ゴミ拾いなど定期的活動があると嬉しいです。(50代 男性)
- 個人的な事情ですが、仕事が不規則なため特定の日付の市民活動に確実に参加できるか直前までわからないので、興味があっても逆にギリギリで辞退など逆に迷惑をかけそうに参加しにくいです。自宅で隙間時間に手伝えることがあるなら手伝いたいのですが、そんな程度でも出来ることがあるかどうか、など知りたいです。(30代 女性)
- きっかけ作りが大事かと思います。(50代 男性)
- 若者向けの活動ばかりではなく幅広い年齢が参加できる活動があるとよいと思います。市内バスの臨時便で足を確保して活動に参加してもらおうとかどうして活動できないのかを考えていくことが重要ではないでしょうか。(50代 女性)
- 都内に通勤している身にとって、近所とのつながりの機会がないので、出来れば勤めながら参加可能な活動があれば知りたいです。(40代 女性)
- 朝霞市は比較的若い世代の割合が多い地域性だと思うので、学校等を通じて大学生や子育て世帯に活動が周知出来る機会が増えるといいと思います。(40代 男性)
- 市民活動の原点は町内活動とっております。趣味を共有する人が集うのもいいのですが、町内会活動を底支えしていただく活動も増やしていただきたいと思います。  
(70歳以上 男性)
- どんな活動があるのか、わからない。(50代 女性)
- 現代社会では多くの方が仕事や子育てで多忙です。わざわざ多忙の中、自ら市民活動に参加したいと希望する方は少ないと思います。(30代 女性)
- 市民活動に関する情報や活動自体に接する感覚が薄く、日常的に意識する機会が少ないと思います。(60代 男性)
- 「市民活動」に、個人として関わったこと、仕事(サポートする立場)で関わっていることから、今回のテーマは、回答しにくいものでした。社会貢献というお題目にとらわれずに、できることを楽しんでやる、ということが大切かな、と思っています。楽しんでいるところを見せる、体験してもらおうことが裾野を広げるのにつながるのでは、と感じています。(60代 男性)
- 「市民活動とは何か」を活動内容付きで、わかりやすくアピールしてもらいたい。  
(40代 男性)
- 市民活動をよく知りませんでしたので、今度からは、広報あさかをきちんと読むようにしたいとおもいます。(50代 女性)
- 不足がないか市民にアンケートしてみる。(50代 女性)
- 興味があるがどのような活動があるのか全く情報がありません。活動団体の一覧などへのアクセスを整備してほしいです。(40代 男性)

市民活動に関するアンケート結果は以上です。

# 朝霞市民意識調査

～朝霞の未来のために、あなたのご意見をお聞かせください～

日頃から市政に対しご理解とご協力をいただき、ありがとうございます。

朝霞市では、まちづくりの指針となる「朝霞市総合計画」を10年ごとに見直しており、現在「第6次朝霞市総合計画」（計画期間：令和8年度（2026年度）～令和17年度（2035年度））の策定に着手しているところです。

そこで、市民の皆様からまちづくりへのお考えやご意見を伺い、朝霞市をより暮らしやすいまちとするために生かしていきたいと考えています。

この調査は、市内にお住まいの18歳以上の方3,000人を無作為に抽出し、お送りしています。ご回答はすべて統計的に処理しますので、回答者が特定されることはありません。

なお、調査結果につきましては、市ホームページ等で公表する予定です。

お忙しいところ、ご面倒をおかけいたしますが、調査の趣旨をご理解いただき、ぜひご協力くださいますようお願いいたします。

令和5年（2023年）11月

朝霞市長 富岡 勝則

## ご記入に当たってのお願い

- 質問への回答は、宛て名にあるご本人がお答えください。
- 当てはまる項目について、直接調査票に○印を付けてください。当てはまる項目がない場合は、「その他」の番号に○印を付けて、（ ）内にその内容等についてご記入ください。
- 回答時間の目安は**10分程度**です。
- ご記入いただいた調査票は、**令和5年（2023年）12月25日（月）まで**に、同封の返信用封筒に入れ、郵便ポストに投函してください。切手は不要です。
- 調査票や返信用封筒にお名前やご住所を書いていただく必要はありません。返信の際は「調査票」のみ封筒に入れてください。  
※「市民ワークショップのご案内」を同封しています。Web等でお申込みいただけるほか、参加申込書を調査票と一緒に同封いただいても結構です。

## 【Web回答について】

- 回答は、Webからも行うことができます。希望される方は、以下の二次元コードまたはURL（<https://survey.zohopublic.com/zs/bgB3xE>）から本調査専用サイトにアクセスし、ご回答ください。
  - Web回答をされる場合は、別紙調査票の右上に記載している「インターネット用回答番号」を入力してください。この番号は、調査票との二重回答を防止するために使用するもので、回答者を特定するためのものではありません。
  - お使いの端末により、回答途中で進めなくなる場合があります。その場合は、大変お手数ですが、調査票にご記入の上、ご返送くださいますようお願いいたします。
- ・Web回答期限：**令和5年（2023年）12月25日（月）まで**

問い合わせ先

朝霞市役所 政策企画課 政策企画係

TEL 048-463-3089（直通）

メール seisaku\_kikaku@city.asaka.lg.jp



## 総合計画とは

朝霞市総合計画は、防災・健康・福祉、教育・文化、環境、都市基盤、産業振興、市民参画など、市のすべての分野において基本となるまちづくりのための計画で、基本構想、基本計画、実施計画の三層で構成されています。

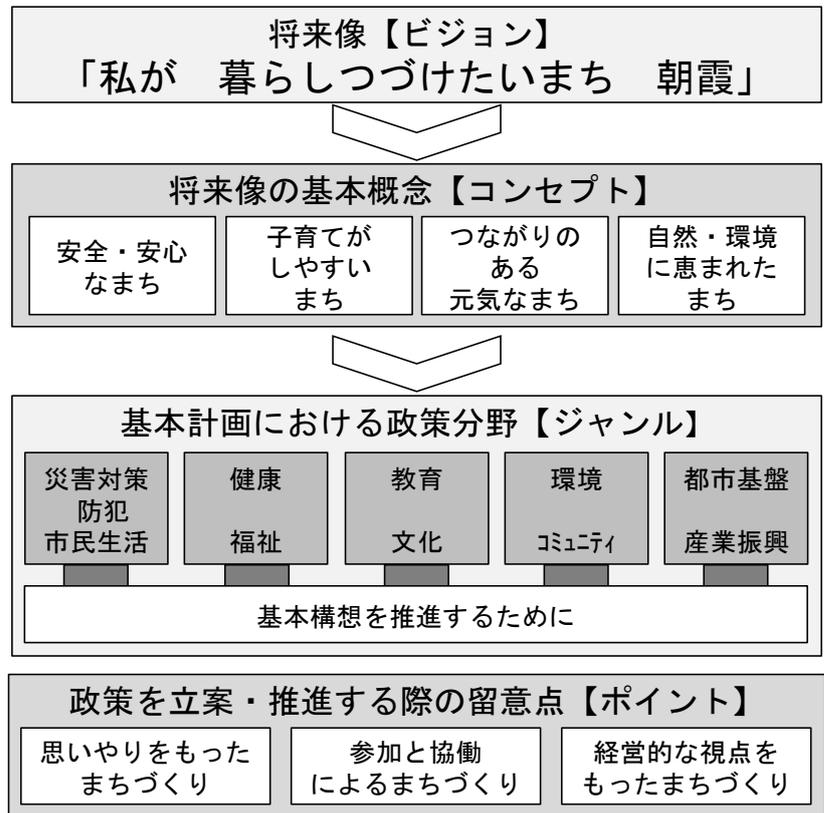
「基本構想」は、市民の皆さんと市がともに目標とする将来像を描き、その実現に向けた政策の方向性を示すもの、「基本計画」は、基本構想を実現するための市の具体的な施策を分野別に体系的に示すもの、「実施計画」は、基本計画に定めた各施策を展開するためのより具体的な事務や事業の内容を示すものです。

現在、朝霞市では平成28年度（2016年度）から令和7年度（2025年度）までを計画期間とする「第5次朝霞市総合計画」に基づき、さまざまな施策や事業に取り組んでいます。

### 《総合計画の構成》



### 《基本構想の構成》



<引用：第5次朝霞市総合計画後期基本計画>

第5次朝霞市総合計画についての詳細はホームページでご覧いただけます。  
<https://www.city.asaka.lg.jp/soshiki/2/5jisougoukeikaku.html>



## はじめに、あなたご自身のことについてお聞きします

令和5年（2023年）11月1日時点でお答えください

## F1 あなたの性別は。

- |      |      |         |
|------|------|---------|
| 1 男性 | 2 女性 | 3 回答しない |
|------|------|---------|

## F2 あなたの年齢は。（令和5年（2023年）11月1日時点）

- |          |          |          |
|----------|----------|----------|
| 1 20歳未満  | 2 20～29歳 | 3 30～39歳 |
| 4 40～49歳 | 5 50～59歳 | 6 60～69歳 |
| 7 70～79歳 | 8 80～89歳 | 9 90歳以上  |

## F3 あなたのお住まいはどの地区ですか。

- |                   |                   |
|-------------------|-------------------|
| 1 青葉台（1丁目）        | 2 朝志ヶ丘（1～4丁目）     |
| 3 大字上内間木          | 4 大字下内間木          |
| 5 大字台             | 6 大字根岸            |
| 7 岡（1～3丁目、大字含む）   | 8 北原（1～2丁目）       |
| 9 幸町（1～3丁目）       | 10 栄町（1～5丁目）      |
| 11 泉水（1～3丁目）      | 12 田島（1～2丁目、大字含む） |
| 13 仲町（1～2丁目）      | 14 西原（1～2丁目）      |
| 15 西弁財（1～2丁目）     | 16 根岸台（1～8丁目）     |
| 17 浜崎（1～4丁目、大字含む） | 18 東弁財（1～3丁目）     |
| 19 膝折町（1～5丁目）     | 20 本町（1～3丁目）      |
| 21 溝沼（1～7丁目、大字含む） | 22 三原（1～5丁目）      |
| 23 宮戸（1～4丁目、大字含む） | 24 陸上自衛隊朝霞駐屯地     |

## F4 あなたの主な職業・就業形態等は。

- |             |                |
|-------------|----------------|
| 1 農業        | 2 自営業・フリーランス   |
| 3 会社員・団体職員  | 4 会社や団体の役員・経営者 |
| 5 公務員       | 6 教育職・研究職      |
| 7 派遣社員      | 8 パート・アルバイト・内職 |
| 9 専業主婦・専業主夫 | 10 学生          |
| 11 無職       | 12 その他（ ）      |

## F5 あなたの勤務先、通学先はどちらですか。

- |                           |                     |
|---------------------------|---------------------|
| 1 朝霞市内                    | 2 埼玉県内（志木市・和光市・新座市） |
| 3 埼玉県内（1・2以外）             | 4 東京都内              |
| 5 通勤・通学をしていない（在宅が主な場合を含む） | 6 その他（ ）            |

F 6 あなたは、生まれた時から朝霞市にお住まいですか。

- |      |       |
|------|-------|
| 1 はい | 2 いいえ |
|------|-------|

F 7 F 6で「2 いいえ」を選んだ方にお聞きします。朝霞市に住む以前(直前)はどこにお住まいでしたか。

- |                     |             |
|---------------------|-------------|
| 1 埼玉県内(志木市・和光市・新座市) | 2 埼玉県内(1以外) |
| 3 東京都内              | 4 その他( )    |

F 8 あなたは、朝霞市にお住まいになってどれくらいになりますか。

- |          |         |          |
|----------|---------|----------|
| 1 5年未満   | 2 5～9年  | 3 10～19年 |
| 4 20～29年 | 5 30年以上 |          |

F 9 あなたの同居している世帯・家族の構成は。

- |              |          |            |
|--------------|----------|------------|
| 1 単身         | 2 夫婦のみ   | 3 親と子(2世代) |
| 4 親と子と孫(3世代) | 5 その他( ) |            |

F 10 あなたの同居している世帯・家族の中に18歳未満のお子さんはいますか。

- |                               |
|-------------------------------|
| 1 いる(未就学のお子さんのみ)              |
| 2 いる(小学生以上18歳未満のお子さんのみ)       |
| 3 いる(未就学と小学生以上18歳未満のお子さんどちらも) |
| 4 いない                         |

## 朝霞市の住みよさについてお聞きします

問1 あなたは、これからも朝霞市に住みつづけたいと思いますか。次の中から1つ選んでください。

- |                 |                               |
|-----------------|-------------------------------|
| 1 ずっと住みつづけたい    | } 1または2を選んだ方は、<br>問2にお進みください。 |
| 2 当分は住みつづけたい    |                               |
| 3 どちらともいえない     |                               |
| 4 できれば市外に引越したい  | } 4または5を選んだ方は、<br>問3にお進みください。 |
| 5 すぐにでも市外に引越したい |                               |

問2 問1で「1 ずっと住みつづけたい」「2 当分は住みつづけたい」を選んだ方にお聞きします。  
あなたが朝霞市に住みつづけたいとお考えになった理由を、次の中から3つまで選んでください。

- |                     |                               |
|---------------------|-------------------------------|
| 1 通勤・通学に便利であるから     | 2 住宅の広さ、家賃や価格等、今の住まいに満足しているから |
| 3 買い物など日常生活が便利であるから | 4 子どもの教育や子育て環境がよいから           |
| 5 都会的な楽しさや魅力が多いから   | 6 近所づきあいが多から                  |
| 7 地域になじみや愛着があるから    | 8 緑が多くあって自然環境がよいから            |
| 9 その他( )            |                               |

問3 問1で「4 できれば市外に引越したい」「5 すぐにでも市外に引越したい」を選んだ方にお聞きします。あなたが市外に引越したいとお考えになった理由を、次の中から3つまで選んでください。

- |                     |                              |
|---------------------|------------------------------|
| 1 通勤・通学に不便であるから     | 2 住宅の広さ、家賃や価格等、今の住まいに不満があるから |
| 3 買い物など日常生活が不便であるから | 4 子どもの教育や子育て環境がよくないから        |
| 5 都会的な楽しさや魅力が少ないから  | 6 近所づきあいになじめないから             |
| 7 地域になじみや愛着がないから    | 8 緑が少なく自然環境がよくないから           |
| 9 その他（              | ）                            |

### 地域との関わりについてお聞きします

問4 あなたは日頃、近所の方とどのようなお付き合いをしていますか。次の中から1つ選んでください。

- |                        |
|------------------------|
| 1 日頃から助け合うなど親しく付き合っている |
| 2 会えばいつも世間話などをする       |
| 3 会えばあいさつ程度はする         |
| 4 近所付き合いはしていない         |
| 5 その他（                 |
| ）                      |

問5 あなたは日頃、地域の自治会・町内会やボランティア団体などで、コミュニティ活動を行っていますか。次の活動（ア～キ）それぞれについて1つずつ選んでください。

	A 加入して、積極的に活動している	B 加入しているが、活動はしていない	C 加入していないが、活動に参加している	D 加入していないが、関心はある	E 加入していないし、関心もない
ア 自治会・町内会活動	1	2	3	4	5
イ 清掃活動や福祉ボランティア活動	1	2	3	4	5
ウ 子ども会・老人クラブなどの地域活動	1	2	3	4	5
エ 音楽・舞踊などの文化芸術活動	1	2	3	4	5
オ スポーツ・レクリエーションなどのサークル活動	1	2	3	4	5
カ 祭りや各種イベントなどの地域行事活動	1	2	3	4	5
キ その他の活動（	1	2	3	4	5
）					

問5-1 問5の「ア 自治会・町内会活動」に「C 加入していないが、活動に参加している」、  
「D 加入していないが、関心はある」または「E 加入していないし、関心もない」を選  
んだ方にお聞きします。加入していない理由は何ですか。あなたの考えに近いものを3つま  
で選んでください。

- |                   |                       |
|-------------------|-----------------------|
| 1 加入しなくても困らないから   | 2 自治会等の活動内容がよくわからないから |
| 3 会費などの負担があるから    | 4 役員等の役割が回ってくると困るから   |
| 5 加入の方法がわからないから   | 6 活動内容に魅力がないから        |
| 7 近所付き合いがわずらわしいから | 8 転居や市外への転出を予定しているから  |
| 9 その他 ( )         |                       |

問6 まちづくり（住みよい地域づくりのための取組）の役割分担に関して、あなたの考えに最も近い  
ものを次の中から1つ選んでください。

- |   |         |
|---|---------|
| 1 まちづくりは市民が主体となって行うもの                               |         |
| 2 まちづくりは行政が主体となって行うもの                               |         |
| 3 まちづくりは、行政と市民とが役割分担を定め、 <u>市民参加を進めながら協働して</u> 行うもの |         |
| 4 まちづくりは、行政や市民だけでなく、 <u>地域の事業者や団体などと協働して</u> 行うもの   |         |
| 5 関心がない   | 6 わからない |
| 7 その他 ( )   |         |

問7 今後、あなたのまちづくりに対する意欲を次の中から1つ選んでください。

- |              |               |
|--------------|---------------|
| 1 積極的に参加したい  | 2 時間があれば参加したい |
| 3 あまり参加したくない | 4 参加したくない     |
| 5 わからない      |               |

問8 あなたが、まちづくりに参加するためには、どのようなことが障害となりますか。次の中から  
2つまで選んでください。

- |                      |                       |
|----------------------|-----------------------|
| 1 参加しやすい時間・場所での活動がない | 2 参加することへの家庭や職場の理解がない |
| 3 活動の場や機会が身近にない      | 4 活動に参加するための時間や余裕がない  |
| 5 活動に関する情報が少ない       | 6 特にない                |
| 7 その他 ( )            |                       |

## 市政についてお聞きします

問9 あなたの市政に対する関心の度合いを次の中から1つ選んでください。

- |                 |                 |
|-----------------|-----------------|
| 1 非常に関心をもっている   | } 問9-1 へお進みください |
| 2 いくらか関心をもっている  |                 |
| 3 あまり関心をもっていない  |                 |
| 4 まったく関心をもっていない |                 |

<問9で「3 あまり関心をもっていない」「4 まったく関心をもっていない」を選んだ方にお聞きします。>

問9-1 あなたが市政に関心がないのはどのような理由からですか。次の中から1つ選んでください。

- |                         |                     |
|-------------------------|---------------------|
| 1 転居してきたばかりでよく知らないから    | 2 住みつづけるつもりがないから    |
| 3 自分の生活には関係ないと思うから      | 4 行政にまかせておけばよいと思うから |
| 5 市民の意向などが反映されていないと思うから |                     |
| 6 その他（                  | ）                   |

問10 あなたは、普段、市政情報（市が発信する情報、市からのお知らせ）をどのような媒体で入手していますか。次の中からすべて選んでください。

- |                            |               |
|----------------------------|---------------|
| 1 市の広報紙                    | 2 市のホームページ    |
| 3 市のフェイスブック、X（旧ツイッター）等のSNS | 4 市のメール配信サービス |
| 5 テレビやラジオなどの市政情報番組         | 6 掲示板         |
| 7 自治会・町内会の集会や回覧            | 8 市の説明会       |
| 9 新聞、チラシ等                  |               |
| 10 その他（                    | ）             |

問11 あなたは、意見や要望などを市に伝えたい場合はどのような手段を選びますか。次の中から3つまで選んでください。

- |   |   |
|---|---|
| 1 市が行っている各種相談に行くか、または相談窓口で電話をする         |   |
| 2 市役所の担当課へ行くか、または電話をする                  |   |
| 3 市が主催する会議やワークショップ等で意見を述べる              |   |
| 4 市議会議員に頼む                              |   |
| 5 自治会・町内会、団体等の役員に頼む                     |   |
| 6 直接市へ陳情や請願をする                          |   |
| 7 「市への意見・要望」などを利用する                     |   |
| 8 市のホームページの「お問い合わせ」を利用する                |   |
| 9 市のフェイスブック、X（旧ツイッター）等のSNSを使って意見・要望を伝える |   |
| 10 電子メールで市の担当者に意見・要望を伝える                |   |
| 11 その他（                                 | ） |

問12 今後、少子高齢化の進展により社会保障に関する支出の増加が見込まれるなど、市の財政状況がより厳しくなっていくことが予想されます。市が提供しているサービスの維持・充実について、市の努力で対応できる範囲を超えることがあった場合、どのように対応すべきだと思いますか。あなたの考えに近いものを1つ選んでください。

- |  |         |
|--|---------|
| 1 歳入増につながる施策を充実させることなどによって対応すべきである       |         |
| 2 行政サービスをある程度縮小、または廃止することによって対応すべきである    |         |
| 3 行政サービスを維持・充実するため、市民の負担を多少増やしても対応すべきである |         |
| 4 特にない                                   | 5 わからない |
| 6 その他（                                   | ）       |

※行政が提供しているサービスの一例：子育て支援などの児童福祉、高齢者・障害のある人に対する高齢者福祉・障害者福祉、ゴミ処理や公共施設の運営など

## 市の全般的な取組についてお聞きします

問13 以下に示す第5次朝霞市総合計画の政策分野ごとの取組（1から31）について、それぞれのように感じていますか。次の取組ごとに、当てはまる番号を1つずつ選んでください。

満足度…各欄の左側に記す取組ごとに、その現状についてどのように感じているか、5段階のうち、当てはまる番号に○を付けてください。

重要度…朝霞市のまちづくりや発展のために今後重点的に取り組むことを期待する度合いについて、5段階のうち、当てはまる番号に○を付けてください。

興味・関心がない…興味・関心がない取組については、右端の「0」に○を付けてください。

	満足度					重要度					興味・関心がない
	満足している	まあ満足している	どちらともいえない	やや不満である	不満である	重要である	やや重要である	どちらともいえない	あまり重要でない	重要でない	
例) 取組について該当する番号を○で囲む→	⑤	4	3	2	1	⑤	4	3	2	1	0
1 防災・消防 ・防災施設の整備や体制強化など防災対策の推進 ・市民の防災意識を高めるなど地域防災力の強化 ・消防団など消防体制の充実	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1	0
2 生活 ・防犯パトロールなど防犯のまちづくりの推進 ・消費者トラブル防止のための相談や支援の充実 ・斎場の適正な管理運営	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1	0
3 地域福祉 ・地域での子どもや高齢者の見守り、ボランティア活動の支援などによる地域共生社会の構築 ・生活困窮者等の相談体制や自立と生活の支援	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1	0
4 子育て支援・青少年育成 ・子どもの権利の尊重や居場所づくり ・相談や情報提供など安心な子育て環境づくり ・幼児期等の教育・保育の充実 ・青少年の健全育成体制の整備やボランティアなど自主的活動の促進	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1	0
5 高齢者支援 ・健康づくりや介護予防、社会参加の支援 ・介護サービスや福祉サービスの充実 ・暮らしやすい住まいづくり、高齢者の権利擁護 ・医療・介護の連携などによる地域包括ケアシステムの推進	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1	0

満足度					重要度					興味・関心がない
満足している	まあ満足している	どちらともいえない	やや不満である	不満である	重要である	やや重要である	どちらともいえない	あまり重要でない	重要でない	

<p>6 障害のある人への支援</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・障害のある人とない人との交流促進や障害者の権利の擁護</li> <li>・相談支援体制の整備、福祉サービスの充実</li> <li>・自立に向けた就労の支援</li> </ul>	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1	0
<p>7 保健・医療</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・健康づくりの支援</li> <li>・母子保健や感染症予防など保健サービスの充実</li> <li>・かかりつけ医の普及啓発、救急医療体制の充実</li> </ul>	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1	0
<p>8 社会保障</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・国民健康保険制度の円滑な運営、国民年金制度の推進、生活保護制度の適正な運営</li> </ul>	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1	0
<p>9 学校教育</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・教育相談体制や学校教育の充実</li> <li>・確かな学力と自立する力の育成</li> <li>・教職員の資質向上や快適な教育環境の整備充実</li> <li>・学校・家庭・地域が一体となった教育力の向上</li> </ul>	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1	0
<p>10 生涯学習</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・生涯学習に関する情報の提供や機会の充実</li> <li>・学習活動の支援や利用しやすい施設の整備や運営</li> </ul>	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1	0
<p>11 スポーツ・レクリエーション</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・スポーツ・レクリエーション活動に関する情報の提供や機会の充実</li> <li>・利用しやすい施設の提供</li> </ul>	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1	0
<p>12 地域文化</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・文化財の保護・活用・伝承に関わる支援</li> <li>・芸術文化の活動、発表・鑑賞の機会の充実</li> <li>・地域文化の発信やイベント支援、交流の推進</li> </ul>	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1	0
<p>13 環境</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・自然環境の保全や生活環境の整備</li> <li>・温室効果ガスの抑制など、地球環境に配慮した取組の推進</li> <li>・環境教育の推進、環境意識の向上や環境美化の推進</li> </ul>	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1	0

満足度					重要度					興味・関心がない
満足している	まあ満足している	どちらともいえない	やや不満である	不満である	重要である	やや重要である	どちらともいえない	あまり重要でない	重要でない	

<p>14 廃棄物処理</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・廃棄物の減量・リサイクルの推進</li> <li>・廃棄物の収集、運搬など、廃棄物処理体制の充実</li> <li>・広域化による新たな廃棄物処理施設の計画的な整備</li> </ul>	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1	0
<p>15 コミュニティ</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・自治会・町内会などコミュニティ活動の推進</li> <li>・利用しやすい施設の整備・運営</li> </ul>	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1	0
<p>16 市民活動</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・地域の課題解決のための多様な市民活動への支援</li> <li>・市民活動拠点の充実</li> </ul>	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1	0
<p>17 土地利用</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・市街化区域における住宅・店舗・工場等の適正な土地利用</li> <li>・国道254号バイパス沿道の土地の利活用や基地跡地の整備など、市街地周辺の適正な土地利用</li> </ul>	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1	0
<p>18 道路交通</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・歩行者にやさしい道路や交通環境の整備</li> <li>・まちの骨格となる幹線道路網の整備</li> <li>・安全で快適な道路の整備、公共交通網の充実</li> </ul>	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1	0
<p>19 緑・景観・環境共生</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・緑地や農地の保全、計画的な緑づくり</li> <li>・水と緑のネットワーク、うるおいのある市街地の形成</li> <li>・まちの魅力を生み出す景観づくり</li> <li>・環境に配慮した施設の整備、雨水の流出抑制</li> </ul>	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1	0

満足度					重要度					興味・関心がない
満足している	まあ満足している	どちらともいえない	やや不満である	不満である	重要である	やや重要である	どちらともいえない	あまり重要ではない	重要でない	

<p>20 市街地整備</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・地域にふさわしいまちづくりに向けた活動の推進、住宅の適正な管理の推進</li> <li>・土地区画整理事業が完了した地区における住環境の維持</li> </ul>	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1	0
<p>21 上下水道整備</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・水道事業、下水道事業の健全な運営</li> <li>・上水道の整備・充実</li> <li>・公共下水道の整備</li> </ul>	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1	0
<p>22 安全・安心</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・災害や犯罪に強いまちづくり</li> <li>・コンパクトで利便性の高い生活環境の整備、身近な生活空間のユニバーサルデザイン化</li> </ul>	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1	0
<p>23 産業活性化</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・買い物環境の充実など魅力ある商業機能の形成</li> <li>・中小企業の経営基盤の強化</li> <li>・企業誘致の推進</li> <li>・都市農業の振興、農地の保全</li> </ul>	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1	0
<p>24 産業の育成と支援</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・産業育成のための情報発信、連携の強化</li> <li>・起業・創業に対する支援体制の充実</li> </ul>	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1	0
<p>25 勤労者支援</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・働きやすい環境の整備、労働相談の充実</li> <li>・雇用機会の創出、雇用の促進</li> </ul>	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1	0
<p>26 人権の尊重</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・人権教育・啓発活動の推進</li> <li>・人権侵害の防止、相談体制の整備</li> <li>・人権問題の解決に向けた支援体制の充実</li> </ul>	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1	0

満足度					重要度					興味・関心がない
満足している	まあ満足している	どちらともいえない	やや不満である	不満である	重要である	やや重要である	どちらともいえない	あまり重要でない	重要でない	

27 男女平等 ・男女平等意識の啓発、多様性の尊重と理解の促進 ・暴力の根絶や女性の活躍推進など、男女平等が実感できる社会環境の実現	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1	0
28 多文化共生 ・外国人が暮らしやすいまちづくり ・多文化共生社会への理解の促進	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1	0
29 市民参画・協働 ・まちづくりへの市民参画と協働の推進 ・情報提供の充実と市民ニーズの把握	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1	0
30 財政 ・公平かつ適正な負担による財政基盤の強化 ・公共施設の効率的・効果的な管理、運営	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1	0
31 行政 ・総合計画の推進 ・適正かつ効率的な行政事務の遂行 ・機能的な組織づくりと人材の育成 ・シティ・プロモーション（市の魅力発信のPRや地域資源の発掘と活用など）の展開	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1	0



問16 あなたは、未来に生かしていきたい朝霞市の強みは何だと思いますか。次の中からあなたのお考えに最も近いものを3つまで選んでください。

- |                              |                          |
|------------------------------|--------------------------|
| 1 都心へ近く、アクセスがよいこと            | 2 道路・鉄道など交通の利便性がよいこと     |
| 3 雑木林や湧き水など武蔵野の自然が残っていること    | 4 買い物がしやすいこと             |
| 5 保育園など子どもの預け先が多いこと          | 6 公園や遊び場が多いこと            |
| 7 学校での教育内容や設備がよいこと           | 8 治安がよいこと                |
| 9 避難所が多いこと                   | 10 ボランティアや地域活動を行う市民が多いこと |
| 11 図書館・児童館・公民館などの施設が充実していること | 12 歴史・文化的資源が豊富なこと        |
| 13 彩夏祭などのイベントが多いこと           | 14 その他（ ）                |

問17 今後、人口減少・少子高齢化が進むことが予想される中、朝霞市のまちづくりはどのような方向をめざすべきと考えますか。次の中からあなたのお考えに最も近いものを1つ選んでください。

- |   |
|---|
| 1 働く世代の人口を増やす <u>ベッドタウン</u>                 |
| 2 子どもや若い世代の人口を増やす <u>子育てのまち</u>             |
| 3 年齢を重ねても、落ち着いて自分らしく暮らせる <u>まち</u>          |
| 4 商業施設や事業所、工場の誘致などによって雇用の機会が多い <u>産業のまち</u> |
| 5 自然な人口減少のもと、交流人口を増やす <u>交流のまち</u>          |
| 6 その他（ ）                                    |

※交流人口：市外にお住まいで、通勤・通学、買い物、観光、レジャーなどで朝霞市を訪れる人々のこと。

問18 あなたは、朝霞市が若者や子育て世帯に選ばれるまちになるために、どのようなことが重要だと思いますか。次の中から3つまで選んでください。

- |                              |
|------------------------------|
| 1 子どもが安全で安心して遊べる施設（屋内・屋外）の整備 |
| 2 医療機関の充実                    |
| 3 質の高い教育・保育の充実               |
| 4 子育てについての相談体制の充実            |
| 5 子育ての経済的負担の軽減               |
| 6 仕事と家庭の両立支援                 |
| 7 デジタル技術を活用した子育て情報の提供        |
| 8 地域で子育てができる環境の整備            |
| 9 その他（ ）                     |



問22 市街地の農地について、今後どのようにしたらよいと思いますか。次の中から1つを選んでください。

- 1 現在のまま保全する
- 2 基本的に農地として維持しながら、市民農園や観光農園等として活用する
- 3 都市の発展のため、農地から都市的土地利用へ転換する
- 4 その他（ ）

問23 自然環境（黒目川、新河岸川、武蔵野の原生林などの水辺・緑地など）について、今後どのようにしたらよいと思いますか。次の中から1つを選んでください。

- 1 現在のまま保全する
- 2 現在の自然環境を維持しながら、公園、緑地などを増やす
- 3 都市として発展するために自然環境が多少損なわれても有効に利用する
- 4 その他（ ）

問24 今後、どのような土地利用が望ましいと思いますか。次の中から3つまでを選んでください。

- 1 利便性を高めるため、駅前などに都市機能（病院や商業施設、公共施設など）を集約する
- 2 空き家や空き地を積極的に活用する
- 3 自然に触れられる公園を整備、維持する
- 4 無秩序な開発を抑制する
- 5 緑地や農地など、緑を保全・創出する
- 6 住宅密集地の解消など、災害に備える
- 7 その他（ ）

問25 市内の都市基盤の維持・整備について、今後、力を入れるべきだと思うものは何ですか。次の中から3つまでを選んでください。

- |           |          |
|-----------|----------|
| 1 道路      | 2 歩道     |
| 3 公園・緑地   | 4 広場     |
| 5 駐車場・駐輪場 | 6 河川・河川敷 |
| 7 橋梁      | 8 上下水道   |
| 9 その他（ ）  |          |

問26 今後、まちなかの魅力を高めるために、どのような取組が必要だと思いますか。次の中から3つまで選んでください。

- 1 歩道が広く、歩きやすい道づくり
- 2 カフェなどの休憩施設がある公園の整備
- 3 景観に配慮した美しい街並みづくり
- 4 イベントスペースとしても活用できる広場づくり
- 5 店舗・商業施設、高等教育機関等の誘致によるにぎわいづくり
- 6 医療・福祉施設の充実
- 7 水と緑のうるおいのある憩いの空間づくり
- 8 アクセスしやすい公共交通サービスの充実
- 9 その他（ )

問27 新型コロナウイルス感染症の流行を経験して、今後重要だと思うことは何ですか。次の中から3つまで選んでください。

- 1 テレワークなどの新しい働き方
- 2 キャッシュレス決済の普及
- 3 行政手続きのオンライン化
- 4 病床確保やオンライン診療など医療体制の充実
- 5 日常的な運動の機会づくり
- 6 デジタルを活用した教育の充実
- 7 安心して飲食できる環境
- 8 感染リスクに配慮した交流機会の確保
- 9 移住定住の促進
- 10 日常的な隣近所とのつながり
- 11 3密回避やワクチン等の感染予防対策の継続
- 12 その他（ )

問28 朝霞市において、今後どのようなデジタル化の取組が重要と考えますか。次の中から3つまで選んでください。

- 1 行政手続きのオンライン化の推進
- 2 マイナンバーカード・マイナポータルの活用
- 3 ICT等を活用した子育て相談・支援の拡充
- 4 高齢者などへのスマートフォンの使い方の支援
- 5 SNSやアプリを活用した災害情報の共有
- 6 市が保有する情報のオープンデータ化
- 7 テレワーク環境の整備
- 8 その他（ )

問29 自由意見欄

最後に、今後のまちづくりや市政について、ご意見などがありましたらご自由にお書きください。

以上で質問は終わりです。ご協力ありがとうございました。



郵便区内特別

## 第6次朝霞市総合計画策定に関する調査 市民意識調査 調査票 在中

あなたのご意見をお聞かせください！



### 【問い合わせ先】

朝霞市役所 政策企画課  
〒351-8501 朝霞市本町1丁目1番1号  
電話：048-463-3089  
メール：seisaku\_kikaku@city.asaka.lg.jp

3 5 1 8 7 9 0



料金受取人払郵便



差出有効期間  
令和6年2月  
28日まで

(切手不要)

この封筒に回答した調査票を入れ、封をして投函してください。

市民意識調査・青少年アンケート

(受取人)

埼玉県朝霞市本町一丁目一番一号

朝霞市役所

政策企画課 行



※上記のバーコードは、郵便局の仕分けのための整理番号を表したもので、個人を特定するものではありません。